

第七十五回帝國議會
衆議院
所得稅法改正法律案外三十件
委員中地方稅法案外七件
小委員會會議錄(速記)第三回

會議

昭和十五年三月六日(水曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

小委員長代理 理事內藤 正剛君

成島 勇君 飯田 助夫君

塚本 三君 宮本雄一郎君

上田 孝吉君 山川頼三郎君

瀧澤 七郎君 小見山七十五郎君

永江 一夫君 藤本 捨助君

武田德三郎君

出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣 兒玉 秀雄君

出席政府委員左ノ如シ

內務省地方局長 挾間 茂君

內務書記官 三好 重夫君

商工省振興部長 妹川 武人君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

地方稅法案(政府提出)

地方分與稅法案(政府提出)

府縣制中改正法律案(政府提出)

市制中改正法律案(政府提出)

町村制中改正法律案(政府提出)

北海道會法中改正法律案(政府提出)

北海道地方費法中改正法律案(政府提出)
地方分與稅分與金特別會計法案(政府提出)

○內藤委員長代理 是ヨリ開會致シマス——小見山君

○小見山委員 先ヅ私ハ地方ノ稅制ト、地方

ノ自治ノ關係ニ付キマシテ政府ノ御所見ヲ

承リタイト思ヒマス、元來地方ノ自治ト云

フモノハ、其ノ地方民ガ自分ノ地方團體ノ

財政ヲ通ジテ其ノ地方ノ產業ナリ、或ハ教

育文化ナドニ對シマシテ自ラ直接責任ヲ持ツ、

責任ヲ感ズルト云フ所ニ自治ノ發達ガアリ、

自治ノ妙諦ガアルト思フノデアリマス、隨

テ稅制モ無論之ヲ目標トシテ制定サレナケ

レバナライノデアリマス、殊ニ我國

ノ自治體ノ特徵ガ茲ニアルト私ハ思ツテ居

リマス、アノ廣イ一眸千里、廣漠タル大陸

ノ國民ガ、動トモスレバ放浪ノ性格ニ陷

ツテ、自分ノ生レタ土地ニ親シマナイ、自

分ノ郷里ニ對スル愛著ノ念ガ薄クナツテ、

是ガ延イテ彼等ガ愛國心ノ薄イ原因デアル

ト私ハ思ツテ居リマス、我國ハ御承知ノ如

ク地理地勢ノ上カラ見マシテモ、民族ノ歷

史ノ上カラ考ヘマシテモ、祖先以來自分ノ

郷里ニ愛著スルト云フ念ガ非常ニ強イ、是

ガ遂ニ延イテ大ニシテハ烈々タル愛國ノ精

神ニナツテ居ルモノデアラウト私ハ信ジテ

居リマス、此ノ愛著愛著、自分ノ生レタル土

地自分ノ郷里ノ發達、發展ニ努力スルト云

フコトガ、我國ノ地方町村ノ鞏固ナル發達

ヲ爲シタ原因デアリ、我國ガ今日斯ノ如ク

強大ナル國家トナツタ重大ナル原因ト私ハ

思ツテ居リマス、今回ノ地方稅制ノ改革案

ヲ拜見致シマス、事務的、技術的ニハ十

分ニ洗煉サレテ、簡易明白ナル名案ト私ハ

敬服致シテ居リマス、併シナガラ其ノ爲ニ

却テ觀念ニ於キマシテハ、私ガ只今申シマ

シタ我國自治本來ノ精神ニ餘程遠ザカツテ

來テ居ルノデハナイカ、即チ之ヲ他ノ言葉

デ申シマス、今回ノ地方稅制改革ニ依ツ

テ、地方ノ財政的ノ獨立性、自主性ガ大分

失ハレルト云フコトデアリマス、今日マ

デ此ノ委員會ニ於キマシテ、此ノ問題ニ付

キマシテハ幾度カ質問應答ガ繰返サレテ色々

ノ御説明ガアツタノデアリマス、私ハ今尙

ホ釋然タラザルモノガアルノデアリマス、成

先ヅ第一ニ戶數割ノ全廢デアリマス、戶

數割ハ申スマデモナク殆ド原始的ノ稅制

デアリマシテ、之ニハ幾多ノ弊害短所ガア

リ、之ヲ此ノ際思切ツテ全廢サレマシタコ

トハ、私共雙手ヲ舉ゲテ贊意ヲ表スル者デ

アリマスケレドモ、其ノ長所デアル所謂負

擔分任ノ精神ガドウナツテ居ルカ、政府ノ

御説明デハ、分與稅ノ制定ト市町村民稅ノ

創設ニ依ツテ、十分此ノ負擔分任制ハ織込

マレテ居ルト云フコトデアリマス、併シ

ナガラ三收益稅ガ府縣ナリ、町村ナリニ於

テ附加稅ノ形ニ於テ財源ヲ與ヘラレテ居ル

ト云フ其ノ事ガ既ニ自主性ヲ相當ニ失ツテ

居ル、殊ニ府縣ニ還付サレル還付稅ニ付キ

マシテ、一應政府ニ取上ゲテ、更ニ又之ヲ

地方道府縣ニ還付スルト云フ、無用ナリト

思ハレル形式ヲ止メテ、直接府縣ガ賦課徵

收シテ宜イデハナイカト云フ、今マデノ委

員各位ノ御質問ニ對シマシテ、色々御答辯

ガアツタノデアリマス、御答辯ノ趣旨ヲ

要約致シマス、配付稅ヲ配付スル資料ト

シテ其ノ地方ノ財政力、負擔力ヲ知ルガ爲

付託議案

地方稅法案(政府提出)(第四七號)

地方分與稅法案(政府提出)(第四八號)

府縣制中改正法律案(政府提出)(第四九號)

市制中改正法律案(政府提出)(第五〇號)

町村制中改正法律案(政府提出)(第五一號)

北海道會法中改正法律案(政府提出)(第五二號)

北海道地方費法中改正法律案(政府提出)(第五三號)

地方分與稅分與金特別會計法案(政府提出)(第五四號)

更ニ國稅ノ形ヲ以テ國民ニ課稅スルコトガ納稅ノ成績ヲ良好ナラシムル、即チ大藏大臣ノ所謂莊嚴性ヲ帶ビルト云フノガ第二デアツタノデアリマス、ソレカラ次イデハ家屋等ノ賃賃價格ノ調整ヲナスニ、公平ニシテ、負擔ノ均衡ヲ得セシムル爲ニハ、ドウシテモ國家自ラ之ヲ持ツテ居ツタ方ガ宜シイ、此ノ三ツニ御説明ノ趣旨ガ歸著スルト私ハ拜聴致シテ居リマス、成程此ノ三ツノ理由トモ相當御尤モノ理由デアリマス、併シ是ハ地方ノ財政上ノ自主性、獨立性ヲ犧牲ニシテ、斯ノ如キ還付ノ形式ヲ執ラネバナラス程ノ重要性ハ無イト私ハ思ツテ居リマス、成程政府ガ一應家屋稅、營業稅或ハ地租ノ賃賃價格、其ノ他ノ標準ヲ自分ノ役所ノ手許ノ帳簿ニ一目瞭然タラシムルコトハ絕對ニ必要デアリマセウ、併シソレハ今日ノ中央官廳ト道府縣廳トノ間ニ、斯ノ如キ緊密ナル事務上ノ連絡ガアル際ニ於キマシテハ、別ニ政府自ラ左様ナコトヲナサラスデモ一定ノ期間ニ一定ノ形式ヲ以テ各府縣廳カラ之ヲ報告セシメテ、之ニ依ツテ中央ニ於テ必要ナル資料ヲ作成サレテ、少シモ不便ノ所ハナイト思フノデアリマス、納稅ノ成績、即チ大藏大臣ノ所謂莊嚴味ト云フ如キハ、是ハ殆ド一顧ノ價值モ無イ、今マデハ地方町村ニ於ケル役場ノ事務ハ非常ニ堆積致シテ居リマシテ、眼ノ廻ル程、手モ足モ足ラナイ程ノ多忙デアアルノガ一ツ、モウ一ツハ國民ノ納稅ニ對スル自覺ガ足ラナカツタノガ第二ノ理由、斯ウ云フ理由ニ依ツテ納稅ノ成績ガ擧ラナカツタノデアリマス、併シ最近ハ御承知ノ如ク、國民ハ支那事變以來國家ニ對スル國民ノ義務ト云フコトニ非常ニ大キナル自覺ヲ致シテ居ル、莊嚴味ガアラウ

ガアルマイガ、納稅スベキモノハ納稅スル、税金ハ早く拂フ、斯ウ云フ風ニ國民ノ自覺ハ進ンデ參ツテ居リマス、殊ニ是ハ別ニ私ノ意見ヲ開陳シテ御尋申シタト思フガ、今日ノ地方町村役場ノ事務ノ敏活ヲ圖ルベキ相當ノ施設ヲ講ジナケレバ、此ノ頃デハ滯滯ニ滯滯ヲ重ネテ、地方自治ノ運營ニ一大支障ガアルト私ハ思ツテ居ル、是ハ他ニ町村役場ノ事務ヲモツト敏活ニスルヤウナ施設制度ヲ設ケテ、此ノ點ハ除去シナケレバナラス、此ノ第二ノ理由デアアル納稅ノ成績ト云フコトハ、是ハモウ手モナク解除サレルモノト私ハ思ツテ居ル、又賃賃價格ノ評價調整ヲナスノニハ、別ニ國家自ラ稅務署ノ手ヲ通ジテナサラスデモ、是ハヤハリ府縣ニ委託ナサレテモ宜シイ、或ハ國家自ラ定メタル賃賃價格ニ依ツテ府縣ガ之ニ課稅致シテモチツトモ差支ナイ、私ハ今マデ聽キマス所ヲ幾ラ含味致シマシテモ、政府委員ノ御説明ニ依ツテ、此ノ還付稅ヲ一度政府ガ中央ニ取上ゲテ、之ヲ再ビ府縣ニ還付スル理由ノ根柢ガ薄弱ニシテ、地方財政上ノ自主性、獨立性ヲ犧牲ニスルダケニ過ギナイト私ハ思ツテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、唯其ノ場遁レノ事務的ナ御答辯デナクシテ、ドウシテモ斯ウシナケレバナラナイ根柢深イ理由ガアルナラバ、ソレヲ先ツ御示願ヒタイト思フノデアリマス

○挾間政府委員 今回ノ稅制ト地方團體ノ自治トノ關係ニ付テ御尋デゴザイマシタガ、今回稅制ヲ改正スルニ付キマシテ如何ナル方針デ之ヲ計畫スルカト云フコトニ付キマシテハ、度々申上ゲタ通りデアリマシテ、政府當局ト致シマシテモ、地方團體ガ各、其ノ特異性ヲ發揮シテ、サウシテ地方ニ

於ケル自治ノ運營ガ益、振興シテ行クヤウニスルコトハ、自治ニ於ケル根本ノ理想トシテハ何處マデモ伸張サセテ行カナケレバナラスト云フコトハ、常ニ如何ナル自治制度ヲ立テル上ニ於テモ、第一ノ目標トシテ居ルノデアリマシテ、今回ノ地方稅制改正ニ於キマシテモ、其ノ點ニ付キマシテハ、十分留意致シテ居ルノデアリマシテ、言葉ヲ換ヘテ申シマス、此ノ稅制改正ノ結果ガ、吾々ノ考ヲ以テシマスレバ、本當ニ自治ヲ振興スル上ニ十分寄與スルデアラウ、ソレハ第一ニハ此ノ稅制改正ニ依ツテ地方ノ財源ガ豐富ニナル、第二ニハ財政上ニ於ケル自主性ガ十分存置セラレル、尙ホ負擔ノ均衡ガ十分得ラレト云フコトニ依リマシテ、自治ハ十分振興スルコト考ヘテ居リマス、唯現在ノ經濟狀態、產業經濟ノ事情ノ下ニ於キマシテハ、ドウシテモ或ル形ニ於テ各團體ガ總テノ稅ヲ直接ニ課徵スルト云フ方法ヲ以テシテハ、資源ノ地域的、跛行的分布ノ狀態ニアリマス關係ニ於テ、本當ニ財源ヲ均等ニ各團體ニ付與スルコトガ困難デアリマス、其ノ手段ト致シマシテ分與稅制ト云フ一ツノ間接課徵ト申シマス、一應國家ガ地方稅デアルベキ部分ヲ徵收致シマシテ、之ヲ地方ニ他ノ形ニ於テ分與スルト云フ方針ヲ執ツタノデアリマス、是ハ現在ノ日本ノ狀態トシテハ已ム得ザル一ツノ手段デアルト思フノデアリマシテ、是ハ決シテ自治性ヲ地方團體カラ奪フ、或ハ地方自治ヲ拘束スルト云フヤウナ趣旨ニ出タモノデハ全クナイノデアリマス、ノミナラズ、此ノ分與稅ト云フモノハ、平年度ニ於キマシテ三億二千七百萬圓ト云フ程度デアリマシテ、他ノ六割六七分ノ地方財源ト云フモノハ、

所謂獨立財源トシテ地方團體ノ自由ニ任セラレテ居ル、即チ附加稅ニ於キマシテモ附加稅ノ課率ノ伸縮ト云フコトハ、地方團體ノ自由意思ニ保持セシメ、又獨立稅ト致シマシテモ從來ヨリモ更ニ方針ヲ改メマシテ、市町村等ニ於キマシテハ、適當ナル財源ガアレバ其ノ稅種ニ付テ獨立稅ノ賦課ヲ認メルト云フ方針ヲ執リ、又目的稅等モ相當範圍ヲ擴張スルコトニ致シテ居リマス、獨立財源ノ方面ニ於キマシテハ、從來ヨリモ更ニ自治ガ伸張シテ參ルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、第一ノ御質疑ノ稅制ト地方自治ノ關係ニ於キマシテハ、今回ノ稅制ハ即チ地方自治ヲヨリ以上ニ伸張セシムル理想ノ下ニ組立テタモノデアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ第二ニ御尋ニナリマシタ是モ此ノ事ニ關聯シテノ問題ト思ヒマスガ、三收益稅ヲ還付稅ト附加稅ノ併用ニシタコトニ付テノ御質疑デゴザイマス、何故ニ此ノ三稅ヲ一部分國稅トシテ課徵スル所ノ還付稅ノ形ヲ取ツタカト云フ點ニ付キマシテハ、先日此處デ詳細申上ゲタノデアリマシテ、ソレデ御諒解ヲ戴キタイト思フノデアリマスガ、尙ホ賃賃價格ヲ國ニ於テ調査決定ヲ致シマシテ、ソレヲ地方稅トシテ用ヒテモ差支ナイデハナイカト云フ御尋モゴザイマシタガ、絕對ニソレガ出來ナイコトハナイト思ヒマス、併シナガラソレハ全ク無意味ノコトデゴザイマシテ、國ガ調査決定ヲシタ賃賃價格ニ基イテ、國ガ課稅ヲスルト云フノガ稅ノ本體デアルト思ヒマス、サウシテ此ノ點ハ此ノ前申シマシタヤウニ、負擔ノ衡平ヲ期スルト云フ點カラ申シマシテ、ドウシテモ一部ニハ國稅ニ殘スト云フコトガ課稅標準ノ決定等ノ上カラ申

シマシテ必要デアリマスガ、最も重要ナ
點ハ負擔ノ衡平ヲ期スルト云フ意味ニ於
テ、一部分ヲ國稅ニ還付稅トシテ殘シタ
デアリマス

其ノ次ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス
ハ、國稅ニ一部殘スト云フコトハ稅ノ經濟
政策的意味、又社會政策的意味ヲ實現致シ
マス場合ニ於キマシテ、地方稅ニノミ殘ツ
テ居リマシテハ各團體區々ニナリマスノデ、
國稅トシテ一部分存在スルト云フコトガ、
斯様ナ政策的意味ヲ實現スル場合ニ於テ適
當デアルト思フデアリマス

ソレカラ租稅ノ、特ニ地租ノ問題デスガ、
沿革上之ヲ國稅ニ殘スコトガ適當デアルト
申シマシタガ、又一面地租ノ如キハ、如何
ナル土地ニ付テモ一應ハ課稅ヲ受ケルト云
フ形ヲ取リマス爲ニハ、國稅トシテ殘スコ
トガ適當デアルト思ヒマス、又假ニ之ヲ
地方稅ニ致シマス場合ニ於キマシテ、然ラ
バ之ヲ市町村稅ニスルカ、或ハ府縣稅ニス
ルカ、府縣稅ニ致シマスレバ、市町村ハ又
當然附加稅ヲ取ルコトニナルダラウト思ヒ
マス、結局問題ハ府縣稅トシマシタ場合ニ
於テモ、市町村ノ獨立稅ニアラズト云フ疑
問ガ殘ツテ來ルト思ヒマス、ソレカラ市町
村稅ニ致シマシタ場合ハ、例ヘバソレニ對
スル府縣ガ分賦ヲスルト云フヤウナ特殊ノ
形ヲ執ラナケレバナラヌコトニナルノデア
リマシテ、斯ウ云フ事情ヲ色々綜合シテ考
ヘマス、一部分國稅ニ殘スト云フコトハ
決シテ地方團體ノ課稅上ニ於ケル自主性ヲ
失ハシメルモノデハナイト思フデアリマス
シテ、國稅トシテ一部分存置致シマスルケ
レドモ、附加稅トシテハ十分ナル伸縮力ヲ
與ヘテ居リマスシ、又還付稅トシテ全額ガ

地方ニ委讓セラレマスレバ、財源トシテノ
關係ニ於テハ全然地方稅ト同ジ形ニナルノ
デアリマシテ、又吾々ノ見方ト致シマシテ
ハ、所謂今同ノ分與稅ト云フモノハ形ヲ變
ヘタ地方稅デアルト云フヤウニ考ヘテ居リ
マスカラ、此ノ意味ニ於キマシテモ、決シ
テ此ノ三收益稅關係ニ於テ、地方團體ノ自
主性ヲ失ヒ、獨立性ヲ減殺スルト云フコト
ニハナラヌト考ヘテ居ルデアリマス

○小見山委員 大體今日マデノ御答辯ト要
旨ハ少シモ變ツテ居ナイヤウデアリマス
ガ、地方財政ノ自主性ハヤハリ附加稅モ其
ノ獨立性ヲ認メテ居ル、ソレニ市町村民稅
ガアル、又獨立財源モ府縣及ビ市町村ニ委
讓シテ分ケテヤツテアル、目的稅モアルカ
ラ其ノ獨立性、自主性ハ十分保持サレルト
云フ御說明デアリマスガ、是ハドウモ私ハ
此ノ三收益稅ノ附加稅ノ形式其ノモノガ既
ニ獨立性ヲ多分ニ失ツテ居ルト云フ見解ヲ
持ツテ居ルノガ一ツ、ソレカラ市町村民稅
ハ御承知ノ如ク年額約五千萬圓、昭和十三
年度カ十四年度ノ徵稅額ヲ見マシテモ、戶數
割ハ二億圓ヲ超エテ居ル、多分二億一千万
圓デアツタカト記憶シテ居ル、昭和十三年
ノ所謂調定濟額ト云フノヲ合算シテ見マス
ト、全國ノ戶數割ハ二億一千万圓ニナツテ
居ルト記憶致シマス、サウスルト五千万圓
ハ二億一千万圓ノ約四分ノ一弱デアリマス、
恐ラク市町村ノミヲ切離シテ考ヘマス、ト
計算ハ致シマセヌガ、是ハ町村ノ戶數割ノ
總額ノ五分ノ一ニモ満たナイノデハナイカ
ト思ツテ居リマス、目的稅ハ全國デ三千万
圓内外デアリマス、是ハ殆ド全體ノ問題ニ
ナラナイ、獨立稅ハ三千万圓ソコノデ、
是ハ斯ウ云フ自主性、獨立性ヲ表現スベキ

程ノ額デハナイ、目的稅ハ其ノ目的ニ應ジ
テ受益者ガ負擔スル性質ノモノデアリマス
カラ、是ハ自主性ト云フヨリモ——今日マ
デモ斯ウ云フモノハ澤山アル、ドウシテモ
全體的ニ見テ自主性、獨立性ハ確カニ失ハ
レテ居ルト私ハ考ヘテ居ル、是ハ幾ラ申上
ゲマシテモ水掛論デアリマスガ、私共ノ見
ル所デハ今度ノ、地方稅ノ改革ハ二、三年
ナリ三年ナリヤツテ行ケバ、吾々ガ今日豫
想シテ居ルヤウナ缺點、缺陷ガ必ズ起ツテ
來ル、毎年當局ニ於カレテモ、ドウモ此ノ案
デハイケナイ、此ノ部分ヲ修正シナケレバ
ナラヌ、此ノ部分ヲ修正シナケレバナラヌ
ト言ツテ、數年ナラズシテ此ノ稅制案ニ大
改革ヲ更ニ加ヘナケレバナラナイヤウナ羽
目ニ至ルデアラウト私ハ想像致シテ居ル、
デアリマスカラ、出來ルダケ再檢討ヲ加ヘ
マシテ、サウ云フ是正スベト缺陷ガアツタ
ナラバ此ノ際ニ正シテ貫ハナケレバナラヌ
ト云フ考ヲ以テ政府ノ御說明ヲ聽イテ居ル
次第デアリマス、更ニ此ノ三收益稅ノ四分
ノ一ヲ政府ガ一應取上ゲテ、更ニ現地ニ還
付スル、此ノ事ノ目的ヲ色々今モ述ベラレ
マシタガ、要スルニ一番理由ノ中心點ハ負
擔ノ衡平ヲ期スル、其ノ爲ニ一部ヲ國稅ト
シテ殘スト云フノガ御說明ノ中心デアリマ
ス、サウシテ各地方ガバラ／＼ニ凸凹ガ起ラ
ヌヤウニスル、地方的ニモ全國的ニ衡平ヲ
期スルト云フ御趣旨ノヤウニ拜聽致シマス
ガ、是ハ先刻私ガ申シマシタ通りニ、一應
之ヲ國稅ニ持ツテ來ナケレバサウシテ衡平
ガ期セラレナイノカ、賃賃價格モ政府ガ定
メテアル、課率モ政府ノ嚴格ナル制限ノ下
ニ定メテアル、私ハ必ズシモ此ノ三收益稅
ヲ地方町村ニ至ルマデ獨立稅トシテ委讓ス

ル必要ハナイト思ツテ居リマス、少クトモ
府縣ニハ國稅トシテ徵收サレタ其ノ稅總額
ノ四分ノ一ヲ其ノ儘現地ニ還付シ、府縣ハ
ソレニ附加稅ヲ取ルノデアルカラ、其ノ取
上ゲタ四分ノ一ヲ現地ハ又道府縣ニ還付ナ
サルノヲ、其ノ儘府縣ニ取ラシメ宜イノデ
ハナイカ、別ニ是ハ少シモ負擔ノ衡平ヲ期
スルト云フ御趣旨ニハ悖ツテ居ナイ、ソコ
ヲドウシテモ一旦取上ゲテ現地ニ還付スル
ト云フ理由ガ私共ハハツキリシナイ、隨テ
此ノ三收益稅ハヤハリ府縣稅トシテ、其ノ
府縣稅ニ對シテ市町村ガ附加稅トシテ課ス
ルト云フコトガ一番適當デアリナイカ、是ハ
小サナ町村ニ一々此ノ三收益稅ヲ獨立稅ト
シテ與ヘルコトハ私ハ贊成致シ兼ネル、併
シナガラ今日ノ道府縣ハ事務的ニモ總テノ
點ニ於テ整然ト致シテ居リマスカラ、中央
カラ相當ノ制限ヲ加ヘテ置カレルナラバ、
決シテ間違ハ起ラナイト私ハ思ツテ居ルノ
デアル、其ノ點ヲ御聽シテ居ルノデアリマ
ス、詰リ府縣ニ還付スベキモノヲ、初メカ
ラ府縣ニ與ヘテ宜イノデハナイカ、負擔ノ
衡平ヲ期スルガ爲ニハ、賃賃價格ノ評價ハ
國家自ラヤツテ宜シイ、課率モ嚴重ナル制
限ヲ加ヘテ宜シイ、斯ウ申シテ居ルノデア
リマス、モウ一度御答辯ヲ願ヒマス

○挾間政府委員 重ネテノ御尋デアリマス
ガ、三收益稅ヲ國稅ニ一部殘シ、之ヲ還付
稅トスルト云フコトノ主タル意味ハ負擔ノ
衡平ト云フコトニアル譯デアリマスガ、其
ノ他ニ二三申述ベマシタコトモ非常ニ大切
ナ點デアルト思ツテ居リマス、ソレカラ委
讓ノ主體ニ付テノ御考ニ付キマシテ地租其
ノ他ヲ府縣ニ委讓シタナラバドウカ、何故
ニ還付稅ノ形ヲ取ルノデアアルカト云フ御說

デゴザイマスガ、府縣ニ委讓致シマシテ場合ニ市町村ハハリ附加稅ト云フ形ニナラナケレバナラナイト思ヒマス、併シナガラ元來地方自治ノ本體ト申シマスカ、基礎的ノ地方自治ト云フモノハハリ是ハ市町村ニアル譯デアリマス、從來地租委讓ノ問題ガ論議セラレタ當時ニ於キマシテモ、大體私ノ記憶ニ依リマスト地租ハ市町村ニ委讓スル、營業收益稅、即チ其ノ以前ニ於ケル營業稅ハ之ヲ府縣ニ委讓スルト云フヤウニ委讓ノ形ガ色々變ツテ居リマス、是ハ稅ノ性質カラサウ云フ結論ニナツタノデアルト思ヒマスケレドモ、大體市町村ト云フモノガ自治ノ基本的ノ形デアアル譯デアリマスカラ、若シ獨立稅ト云フ形ヲ取ルトスレバ、市町村ニ委讓スルト云フ方ガ本旨デハナイカト思フノデアリマス、今回還付稅ヲ府縣ニ移シマシタト云フノハ、財源ノ關係ニ於キマシテ府縣ト市町村トガ折半スルト云フノデ、事務ノ便宜上一萬一千有餘ノ市町村ニ分與スルヨリモ、府縣ニ還付スルトコトガ簡單明瞭デアルト云フノデ、還付稅ハ府縣ニ移スト云フコトニ致シタノデアリマス、若シ獨立稅ト云フコトニナリマスレバ、私ハ寧ロ市町村ニ移スト云フコトガ本當デハナイカト思フノデアリマス、サウスルト府縣ニハ分賦トカ云フヤウナ妙ナ原始的ノ財源ヲ得ル形ヲ取ラナケレバナラナイコトニナルノアリマシテ、適當デハナイヤウニ考ヘルノデアリマス、又假ニ府縣ニ委讓スルト云フコトニナリマスレバ、市町村ハ附加稅主義ニナル譯デアリマシテ、斯様ニシマシテハ委讓ト云フコトガ——地方獨立財源ト云フコトガ十分説明ガ出來ナクナルノデハナイカト考ヘテ居リマス、又賃賃價格ハ國ニ於テ

決定ヲシ、課率ヲ國ガ定メ、其ノ制限ノ下ニ於テ地方ガ獨立稅トシテ課スルト云フノデハ、實ハ名ノミ獨立稅デアツテ、實質ニ於テハ自主稅ト云フコトガソレ、依ツテ保證サレルト云フコトニハナラナイト考ヘルノデアリマス、斯ウ云フ理由カラ致シマシテ文字通りノ獨立稅トスルト云フコトヨリモ、一部ヲ國稅ニ存置シマシテ、ソレニ依ツテ保持シ得ル他ノ色々ノ大切ナ問題ヲ併セ解決シタイト云フノデ此ノ三稅ハ還付稅ノ形ヲ取ツタノデアリマス

○小見山委員 大分私ノ質問ノ要旨ト食違ツテ居ルヤウデアリマス、是ハ他ノ言葉デ申シマスルト、今御話ノ通り元來此ノ三收益稅ハ出來ルナラバ町村ニ委讓スルトガ本當ダ、併シナガラ是ハ技術的ニ、事務的ニ又幾多ノ不便缺陷ガアリ、弊害モ生ズルカラ、先ツ國ガ基本ヲ抑ヘテ、ソレニ附加稅ヲ課スルト云フコトニナツテ居ルト云フ御説明ト承リマスガ、私ノ申シマスノハ國ガ其ノ四分ノ一ヲ自ラ徵收シテ府縣ニ還ス、國ガ三收益稅ヲ謂ハバ統轄シテ居ル、投網ヲ打ツテ、其ノ投網ノ綱ノ目ヲ手綱一本デ纏メタヤウニシタイト云フノガ御説明ノ趣旨ト思ヒマス、其ノ手綱ヲ府縣ニ致シマシタラドウカ、課率ノ制限、賃賃價格ノ調査決定ノ如キハ國ガヤラレテ、中央ガヤルベキ仕事ヲ府縣ニ代行セシムル、サウシテ其ノ四分ノ二ヲ府縣稅ニ移シテ、殘リノ四分ノ二ヲ町村ニ附加稅トシテ課稅サセルト云フコトデ宜クハナイカ、結局一度取上ゲテ又原地ノ道府縣ニ還付スル必要ハナイデハナイカ、斯ウ云フノガ私ノ質問ノ趣旨デアリマスガ、ドウモ能ク徹底シナイヤウデアリマスケレドモ、是ハ一應此ノ程度ニシテ

置キマシテ私ノ質問ヲ進メマスガ、次ハ市町村民稅デアリマス、成程戶數割ハ今日マデハ全ク資產及ビ所得ニ依ツテ戶數割ノ額ヲ定メテ居リマシタガ、ソレデモ尙ホ幾多ノ弊害缺陷ガアツタ、ソレニ代ルベキ其ノ戶數割ノ長所ノ一部ヲ殘スベク、市町村村民稅ヲ創設サレタコトハ結構ト思ヒマスガ、此ノ市町村民稅ハ餘リニ從來ノ弊害——戶數割ハ何處マデガ其ノ一町村、一都市ノ最高額デアルカ分ラナイ、或ル町村ノ戶數割ノ最高額ハ數千圓或ハ一萬數千圓ニ達シ、貧弱ノ村デハ最高ノ人ガ三百圓位ト云フコトモアリマスシ、富ノ程度ノ餘リ變ラナイヤウナ二ツノ村デ、一方ノ人ガ最高千圓ヲ納メテ、隣ノ村ハ同ジヤウナ程度ノ者デ百圓納メ、斯ウ云フ不公平ガアル、之ヲ是正スル爲ニ最高一萬圓トシタト云フコトハ非常ニ結構ナコトデアリマス、併シハ餘リニ從來ノ弊害ヲ打破スルトノミヲ目的トシテ定メラレタ方法デハナイカ、戶數割ニモ長所ガアル、而モ其ノ短所デアツタ無制限ニ課稅スルト云フコトヲ懼レテ、小サク一圓ト云フ金額ニ限定サレタ嫌ヒガアリハシナイカ、之ヲ例ヲ舉ゲテ申シマス、或ル小サナ町村ニ於テ二十萬圓、三十萬圓ノ資產ヲ持ツテ居ル人ガ其ノ村ニ於テ第一流ノ富豪デアレバ、自然其ノ町村會ハ其ノ人ニ殆ド最高限度マデ實際ニ於テハ課稅スルデセウ、二十萬圓、三十萬圓ノ財產家或ハ十萬圓、十五萬圓ノ財產家ニ恐ラク或ル町村ハ最高千圓ノ課稅ヲスルデセウ、一方大都市ニ於テ數百萬圓、或ハ數千萬圓ノ大富豪ガヤハリ千圓、斯ウナツテ來ルコトハ甚ダ不合理デアアル、私ハ市町村民稅ノ創設ニハ少シモ異議ハアリマセシ、又一定ノ金額ヲ限度

トシテ課稅スルトモ同意致シマスガ、千圓ト云フ最高限ヲ小サク決メタ所ニ將來非常ナ缺陷ガ起リハシナイカ、弊害ガ發生シハシナイカ、是モヤツテ見ナケレバドウ云フ風ニナルカ分リマセマスガ、私ノ今想像スル所デハ之ヲ三種類位ニ分ケル、例ヘバ人口七十萬以上ノ大都市ニ於テハ最高限度ヲモット大キクスル、此ノ金額ハ私今此ノ位ガ丁度適當ダト云フコトハ明言致シ兼ねマスガ、假ニ申シマス七十萬以上ノ大都市ノ所謂市民稅ハ最高限度ヲ一萬圓位ニシテモ差支ナイ、東京、大阪、神戸、名古屋ナドデハ從來ノ戶數割ガナクナツテ一萬圓ノ市民稅ヲ拂ツテモ、從來ニ比ベテ少シモ重クナラナイ、輕イモノデアアル、其ノ他所得稅トカ納稅致シマセウガ、數千萬圓ノ人ガ一年ニ一萬圓ノ市民稅ヲ從來ノ戶數割ニ代ツテ拂ツテモ、少シモ其ノ人ニ取ツテ重イ負擔ニナラス、是ハ丁度地方ニ於テ十萬圓カ二十萬圓ノ富豪ガ千圓ノ負擔ヲ受ケタヨリモモツト輕イニ違ヒナイ、故ニ最高額一萬圓位ニシタラドウカ、其ノ次ノ都市ニ於テハ三千圓内外ニスル、一般町村ニ於テハ千圓トスル、大都市ハ數百萬圓、數千萬圓、數億圓ノ大富豪ガアルト同時ニ、其ノ日ノ生活ニ困ツテ居ル貧民ガ多イ、富ノ程度ガ甚ダ相違シテ居ル、斯ウ云フ所デハ大富豪ニハウント上ゲテ、喰フニ喰ハレヌ多クノ貧民ニハ成ベク稅課カラナイヤウニ、課ケテモ極ク僅カナル額デ済ムヤウニスル爲ニハ、最高額ト云フモノヲドウシテモ上ゲナケレバナラス、是ハ常識的ニ考ヘテサウナルト思ヒマス、餘リニ政府ハ從來ノ戶數割ノ弊害ニ脅エテ最高一萬圓ト限定シタ所ニ、將來市町村民稅ガ非常ニ動キノ取レヌ

コトニナリハシナイカト云フ懸念ヲ持ツテ居ル、此ノ最高額ニ付テハドウナルカ知レマセスガ、場合ニ依ツテハ斯様ナ趣旨ヲ以テ私共ハ修正シナケレバナラヌト云フ考ヲ持ツテ居リマスガ、政府ノ御所見ハ如何デアリマスカ

○扶間政府委員 市町村民税ノ性質等ニ付テハ度々此ノ席デモ申上ゲタ通りデアリマス、元來市町村民税ハ輕イ戸數割ト云ヤウニ、戸數割ヲ變形スル意味カラ出テ居ルノデハアリマセス、隨テ市町村民税ノ性質ヲ稅負擔ヲ主トシテ考ヘテ戴カナイヤウニ御願シタイト思ヒマス、國民ノ負擔ト云フ立場カラ致シマスレバ、實ハ市町村民税ハ別段之ヲ設定シナイデモ宜シイ譯デアリマス、國民ノ負擔ト云フ關係ハ今回ノ稅制ニ於キマシテハ、度々申上ゲマシタヤウニ、中央地方ヲ通ジテ國民負擔ノ均衡化ト云コトヲ考ヘ、其ノ總體ニ於テ立案ヲ致シテ居リマス、市町村民税ハサウ云フ意味カラ立脚シテ居ルノデハナイ譯デアリマス、寧ろ稅ノ本當ノ精神トスル所ハ、市町村民ガ其ノ市町村ノ負擔ヲ分任スルト云フ立場カラ起ツテ居ルモノデアツテ、負擔關係トハ別箇ノ自活ノ根本精神ニ此ノ稅ノ元ヲ置イテ居ル譯デアリマス、ソレ故ニ市町村民税各納稅者ノ最高額ト云フ問題ニ付テモ、是ハ各團體ノ種類ノ相違、大小ニ依リマシテ區別ヲ設ケルト云フコトハ、是ハ此ノ稅ノ本質カラ見テ適當デナイノデアリマス、如何ナル團體ニ居住シテ居リマシテモ、其ノ人ガ市町村民税ヲドレダケ負擔スルカト云フコトハ、是ハ一律ニ考ヘルベキモノデアツテ、全國ヲ通ジテ最高額ヲ決定スベキモノデアル、斯ウ思ヒマス、團體ノ種類ニ依リソレヲ考

慮スルト云フコトハ、結局之ニ依ツテ得ル收入ガ其ノ團體ノ財政收入ヲ主眼トシテ考ヘルト云フコトニナルノデアリマシテ、是ハ市町村民税ノ性質カラ致シマシテ首肯シ難イコトデアルト思フノデアリマス、殊ニ今回ノ稅制ニ於キマシテ、市町村民税ハ總額ヲ五千萬圓ト云フコトデ、謂ハバ各市町村民ガ其ノ市町村ニ於テ團體員トシテノ會費ヲ納メルト云フ程度ノ意味ヲ持タセテ居ルモノデアリマス、之ヲ餘リ高ク、最高ハ一萬圓トカ、或ハ中市ハ三千圓デアルトカ云フコトニ致シマス、是ハ結局稅負擔總額ノ上カラ云ヒマス、負擔ノ過重ヲ來ス虞ガアルト云フコトニナツテ來ルト思フノデアリマス、ト申シマス、ハ、今回ノ稅制ト云フモノハ一應地方稅制ヲ白紙ノ狀態ニ置イテ、中央ト睨合セテ、負擔ノ均衡ヲ得ルヤウニ課稅ノ課率等ガ定メラレテ居リマス、更ニ之ヲ最高一萬圓ト云フ風ニ致シマス、負擔ノ過重ヲ生ズル虞ガアリ、又戸數割ノ弊害ヲ此ノ市町村民税ノ上ニ持チ來スコトニナルノデハナイカト思フノデアリマシテ、政府トシマシテハ原案ノ制限ガ最モ適當デアルト思ツテ居リマス

○小見山委員 今ノ御説明モ一寸私ノ質問ノ趣旨ヲ間違ヘテ居ラレヤウニ思フノデスガ、私ハ戸數割ニ代ツタノガ此ノ市町村民税デアルト思ツテ居リマセス、戸數割ノ中ノ所謂負擔分任主義ト云フ長所ヲ之ニ持タセテ居ル、國民デアリ、市町村民デアリ以上ハ、自分モ國民ノ一人デアリ、自分モ市町村民ノ一人デアルト云フ自覺ヲ持タセ

ス、又五千萬圓ガ二億數千萬圓ニ代ル財源デアアルコトモ承知致シテ居リマス、併シ是ハ實際ノ問題ト致シマシテハ、必ズ其ノ地方ニ於キマシテハ、負擔能力ノ大キナ者ニハウント持ツテ行クコトニ落込シテ行クコトハ決ツテ居ル、ソレデアリマスカラ一千圓ト云フ制限ヲ都鄙共ニスルコトハ、將來甚ダ不都合ヲ生ズル、ソレカラ又今局長ハ、一萬圓ノ最高限度ヲ決メルト云フト、稅額ガ非常ニ大キナル、所謂戸數割同様ニナツテ、稅額ガ大キクナツテ、此ノ稅ヲ創設シテ趣旨ニ合ハナイト云フ御説明デアリマスガ、私ハ稅ノ總體の數字ハ動カサス、七十万ノ以上都市ニ於テ一人平均八圓、其ノ他ノ市ガ六圓、町村ガ四圓、是ハ動カサス、此ノ率ハ動カサス、サウシテ最高限度ダケヲ大都市、中市町村ノ三種類ニ分ケルコトガ宜クハナイカ、政府ノ初メ此ノ案ヲ制定サレタ當時ハ、金額ノ多少ハ問ハヌ、誰デモ相當ノ負擔ヲスル、國民の自覺ヲ與ヘル、納稅ノ義務ヲ皆ハ負ハセルト云フノガ根本ノ趣旨ト思ヒマスガ、ソレハサウニ違ヒアリマセス、又此ノ千圓デ宜イカモ知レマセス、併シ之ヲ實際ニ實施スルニ及ンデハ、必ズ澤山持ツテ居ル人ニハ澤山税金ヲ課セルコトニナル、其ノ場合ニ貧弱ナル町村ニ於テモ市町村民税ハ最高限度ノ千圓ヲ課稅サレ、數千萬圓、數億圓ノ大富豪モ大都會ニ於テ千圓ダケダ、斯ウナルコトハソコニ非常ニ意外ナル、今日想像シナイヤウナ不合理ガ發生スルニ違ヒナイカラ、ソレヲ今日防止スル爲ニ、私金額ハ茲ニ固執シマセスガ、セメテ一萬圓、三千圓、一千圓ト云フ位ニシタ方ガ宜クハナイカ、別ニ市町村民税ニ於ケル國ノ總額、五千萬圓ノ總

額ニモ變更ガナクテヤルコトガ至當デハナイカ、サウ云フ意味ナノデス、ソレナラバ多分御賛成ダラウト思ヒマスガ、如何デスカ

○扶間政府委員 或ハ議論ニナルカモ知レマセスガ、團體ノ種類ニ隨ヒマシテ最高額ガ相違スルト云フコトハ、ドウモ此ノ稅ノ性質カラ見テ、適當デナイト思フノデアリマス、例ヘバ東京ニ住ツテ居ル者ガ隣ノ村ニ行キマス、非常ナ富豪デアツタ關係デ、東京ニ居リマス、一萬圓納メテ居ツタガ、隣ノ村ニ行ツタノデ今度ハ千圓ニナルト云フノハ、市町村民税ノ性質カラ見テドウモ適當デナイ、度々申上ゲマスガ、此ノ稅ハ決シテ之ニ依ツテ國民トシテノ負擔ノ均衡ヲ得ルト云フコトヲ目的トシテ居ルノデハナクテ、何處マデモ負擔分任ノ精神ヲ普ク市町村民ノ上ニ現ハシテ行ク、隨テ成ベク多數ノ者ガ小額クリトモ納稅ヲスルト云フコトニスルノガ、此ノ稅ノ本質デアリマス、團體ノ種類ニ依リマシテ、最高額ガ二三ニナルト云フコトハ適當デナイト考ヘテ居リマス、尙ホ東京其ノ他大都會ニ於キマシテハ、無論今日戸數割ノ制度ノ如キモノハナイノデアリマシテ、今回ノ市町村民税ノ創設ニ依リマシテ、特ニ斯ウ云フ趣旨ヲ一般ニ普遍的ニ納稅義務者ノ上ニ現ハシテ行カウト云フ考ヲ持ツテ居ル譯デアリマス

○小見山委員 ドウモ此ノ稅制ヲ立案ナサレタ當時ノ原則ガ、アナタノ頭ニマダコピーリ付イテ居ツテ、其ノ原則ニ依ツテ具體的ニ作ラレタ此ノ法案ガ、實地ノ場合ドウ云フ作用ヲ起スカ、アナタガ豫想シテ居ナカッタドウ云フ副作用ガ起ツテ來ルカト云フコトハ、アナタハ今始ラ夢中ニナツテ考ヘ

テ居ナイヤウデアリマス、今私ノ申シマシ
タヤウニ、數千萬圓、數億圓ノ大富豪モ千
圓、五萬圓カ十萬圓ノ地方ノ所謂小富豪モ
千圓ト云フコトハ、必ズソコニ不合理ガ起
ル、又東京市内、大阪市内ニ居ル大富豪ガ、
五千圓カ一万圓ノ市町村民稅ニ恐レテ、隣
ノ郡部ノ町村ニ引越スト云フコトモ是ハ絶
對ニアリマセヌ、今日マデハ其ノ反對ノ現
象ガ頻リニアツタ、例ヘバ貧弱ナル町村ニ
相當大キナ金持ガ居ル、之ニ無茶苦茶ニ戸
數割ヲ課ケル、千圓モ二千圓モ、三千圓モ
四千圓モ課ケラレル、堪ラスカラ、市ニ行
ツテ家ヲ持ヘテ、子供ノ教育ガテラニ一時
寄留ヲシテ、籍ヲ置ク、此ノ二千圓三千圓、
四千圓ノ戸數割ガアレバ、コツチデ子供ヲ
學校ニヤツテ養ヘ食ヘル、斯ウ云フノガ地
方ニハ非常ニ多イ、是マデ地方ノ青年、或
ハ勞働者知識階級ノ者ガ中央ニ流レルト云
フコトダケガ、吾々ノ眼ニ映ジテ居リマシ
タガ、實際ハ此ノ大ナル戸數割ノ負擔ヲ恐
レテ、其ノ縣ノ市ナリ、或ハ中央ノ市ナリ
ニ住居ヲ移ス人ガ澤山アツタ、大都市ニ於
テ一万圓、普通ノ都市ニ於テ二千圓ヤ三千
圓ノ市民稅ガ課ツタカラト云ツテ、隣ノ郡
部ニ引越スヤウナ人ノ存在ハ齒牙ニ掛ケヌ
デモ宜シイ、數千坪、數萬坪ノ大邸宅ニ住
ツテ居ル人ガ、サウ容易ニ自分ノ籍ヲ隣ノ
郡部ノ町村ニ移シテ住フヤウナコトハ絕對
ニシマセヌ、今有ラユル階層ノ人ガ地方カ
ラ中央ニ中央ニト流レテ居ル、是ハ防ガナケ
レバナラナイ、併シナガラ中央ニ居ル人ガ、
假ニ非常ナ金持ガ郡部ノ田舎ニ籍ヲ移シテ
寄留シテ呉レタラ、是ハ却テ有難イカモ知レ
ナイ、此ノ弊害ハ私ハ別ニ恐ルルニ足ラス
ト思フ、アナタハ國民ノ義務トシテ、誰デモ

小額ナガラ課稅シナケレバイカヌ、サウ云フ
趣旨デヤツタノダカラ、別ニソシナ甚ダシ
イ差等ヲ設ケテハイケナイト云フ御話デス
ガ、ソレナラ初カラ五十錢ナラ五十錢、一圓
ナラ一圓、平等ニ課ケレバ宜シイ、一圓課ケ
レバ七千圓ニナル、今日最下級ノ者デアツ
テモ、幾ラ貧乏人デモ、一年ニ一圓ノ税金ヲ
納メルコトハ苦痛デモアリマスマイ、一箇月
ニ幾ラニナルカ、八錢カ九錢ノ税金ニシカ
ナラス、一年ニ一圓トシテ七千圓、アナタ
ノ御趣旨ノヤウナ市町村民稅ナラバ、初メ
カラ一人一圓ト決メタツテサウ大シタコト
ハナイ、併シソレハ不合理デアアルカラ、平
均ヲ八圓、六圓、四圓トシテ、最高限度ヲ
餘リ高ク課スルト弊害ガ起ルカラ千圓ニ制
限スルノダト云フ、ソレヲ千圓マデ最高限
度ヲ認メル以上ハ、其ノ千圓ノ最高限度ニ
依ツテ生ズル不合理ハ是ハ正シナケレバ
ナラス、其ノ不合理ハ何デアアルカ、大都
會ニ於ケル數千萬圓、數億圓ノ金持モ一圓、
町村ニ於ケル五萬、十萬ノ地方ノ小地主モ
千圓、是ハ不合理ダカラ、此ノ不合理ハ多
少是正シナケレバナラヌト云フ御考ガ起リ
サウナモノダト思フ、一體甚ダ失禮ナガラ、
最初ノ原則ヲ離レテ、白紙ノ狀態ニナツテ
御考ニナレバ、是ハ常識デ判斷ノ出來ルコ
トデアリマスガ、如何デアリマスカ

メルト云フコトニスルノデアリマシテ、是
ハ稅制全體ヲ通ジテ考ヘル問題デアツテ、
市町村民稅ハ決シテ國民負擔ト云フ問題デ
ハナクテ、市町村住民トシテ其ノ市町村ノ
負擔ヲ分任スルト云フコトナリデアリマス、
隨テ御話ノヤウニ或ハ全部一人當リ一圓ト
云フコトモ考ヘラレナイ問題デハナイト思
ヒマスガ、ソレハ餘リ畫一的デアアルノデ、
輕度ナル差等ヲ付ケルト云フコトヲ考ヘテ
居ル譯デアリマス、併シナガラソレナラバ
其ノ差等ガ大都會デアレバ一萬圓デモ宜ク
ハナイカト仰シヤイマスガ、是ハ實ハ程度ガ
千圓カラ一萬圓ニ變リマス云フコトハ、是
ハ非常ナ違ヒデアアル譯デアリマス、吾々ノ
考トシテハ成ベク多數ノ人ニ輕イ負擔ニ於
テ、各自ガ市町村ノ負擔ヲ分任スルト云フ
精神ヲ此ノ稅ノ上ニ現ハスト云フノガ本體
デアアルノデアリマス、決シテ四ハレタ考デ
斯ウ云フ制限ヲ固執スル譯デモナイノデア
ツテ、最モ此ノ程度ノ制限ガ適當デアアル、
又團體ヲ異ニスルコトニ依ツテ最高額ガ異
ルト云フコトハ、此ノ稅ノ本質カラ見テ適
當デナイト思フノデアリマス、先程例ニ舉
ゲマシタノハ、課稅ノ高イ所カラ低イ所ニ
富豪ガ流レテ行クト云フコトヲ例示的ニ言
ツタノデハナクテ、「エー市トビ」村ト
ノ間ニ同ジ人ノ負擔ガ、千圓ト一萬圓ト云
フ風ニ變ルト云フコトハ適當デナイト云フ
コトノ例トシテ申上ゲタノデアリマス

○山川委員 關聯シテ伺ヒタイノデスガ、
今小見山サンカラ段々將來施行後ニ於テ、
ドウ云フ風ニ税金ガナツテ來ルカト云フコ
トヲ、詳細ニ數度ニ互ツテ御述ニナリマシ
タガ、マダ當局ハ其ノ事ガ能ク分ラヌヤウ
ニ思フノデアリマス、私ハ只今局長ノ御答
辯ヲ伺ヒマス、人頭稅ト云フ風ナ意味カ
ラ割出シタ住民稅ノ御説明ノヤウニ聞エル
ノデス、誰モ彼モ人間ハ生キテ居ル者ハ一
圓ツツ課稅シナケレバナラヌト云フコトカ
ラ御話ニナツテ居ル、ソレト是ト丁度混ゼ
コゼニシテ御答辯ニナツテ居ル、五十錢シ
カ課カラヌ者モアル、九百九十九圓、千圓
マデモ課カル者ガアルト云フコトニナツタ
ナラバ、其ノ村ノ税金ノ一部ヲ分擔シテ居
ルト云フ精神的ノ意味トハ變ツテ來ルノデ
アリマス、少シ課カル者モアルガ、餘計課
カル者ハ千倍モ課ケルコトモ出來ルト云フ
コトニナルト、ヤハリソレハ財産稅デアアル、
力ノ税金デアアル、斯ウ云フコトニナツテ來
ルノデアリマス、ドウ考ヘテ見マシテモ、
只今ノ説明デハビツタリ其ノ意味ガ合ハナ
イト思フ、人頭稅ト其ノ意味ハ變ツテ來ル、
是ハ人頭稅デ、一圓ナラ一圓ヲ最下級トシテ、
サウシテ其ノ意味ニ於テ誰モ彼モ少シツツ
ダケレドモ持寄ル、是ガ稅ノ目的ノ主體デ
ハナイ、稅ハ他ノ財源ニ依ツテ他ノ力ニ依
ツテ課ケルノデアアル、ケレドモ其ノ村ニ住
ヒヲ致シテ居ルト云フ精神的ノ觀念ヨリ稅
ノ分擔ヲ受ケテ居ル、斯ウ云フ精神デ課ケ
ル、斯ウ云フコトノ御説明ガアル、ソレナ
ラバ皆稅ノ大體ハ其ノ力ノ方デ取ツタラ宜
イ、僅ニ其ノ分ダケヲ少シツツ集メテ見ル、
斯ウ云フノデアレバ宜シイノデス、ソコノ
所ハドウシテモ今ノ小見山君ニ對スル御答
辯デハ私ハ諒解出來ナイノデアリマス、デ
アリマスルカラ、私ハ此ノ都市ノ關係デハ
圓、六圓、四圓ト云フ風ニ御分ケニナツテ
居ル其ノ金額モ別ニ異議ハナイ、ソレカラ
御課ケニナルト云フコトモ異議ハナイケレ
ドモ、千圓ト云フモノヲ置カレルト云フコ

トダケガ、唯邪魔ニナツタリ、或ハソレガ迷惑ニナル、上ノ者ノ爲ニハ何モ制限ニナラナイデ、片方デハ制限ニナル、迷惑ニナツタリ不便ニナツタリスルダケノモノデアアル、デアリマスルカラ、今小見山君ハ千圓ヲ或ハ五千圓、一万圓ト云フヤウナ風ニ分ケタラドウカ、斯ウ云フ風ニ仰シヤイマスガ、私ハ寧ロ千圓ヲ取ツテシマツタラソレデ宜イノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、在來戸數割ト云フモノノ弊害ニ長イ間惱ンデ來タノデアリマス、此ノ戸數割ハ見立稅デアリマシタケレドモ、凡ソ其ノ財產ニ合ハシテヤツテ、大變ナ無茶苦茶ナコトハシナイ、五倍トカ七倍トカ云フヤウナ無茶ナコトハシテ居ナイ、マア二倍ニナツテ居ルトカ、或ハ少シ無理ヲシテ三倍ニナツテ居ルト云フヤウナ程度ニナツテ居ル所モソレハアリマスケレドモ、ソレガ七倍トカ十倍トカ云フヤウナ無茶ハシテ居ナイ、ケレドモ今度ノ此ノ税金ハ、千圓マデハ課ケテモ宜イノダカラト云ウタラ、ドンナ無茶デモ私ハ貧弱ナル所ノ町村デアリマシタラ出來ルト思フ、三萬圓ヤ五萬圓ノ財產家ガ、一番其ノ村ノ大將デアルト云フヤウナ、財產ノ平均シタ所ノ村デアリマシタラサウ云フコトハ必ズ行ヒ易イコトニナツテ來ル、サウスルト、戸數割ノ弊害ヨリヨリ以上ノ弊害ガ起ツテ來ル、在來ノ戸數割ノ其ノ弊害ヲ除カンガ爲ニ拵ヘタ所ノモノデアアルカドウカ知ラスガ、戸數割ハ弊害ガアルカラ廢メラレテ、サウシテ片方ニ住民ト云フ所ノ意味ニ於テ御課ケニナツタノデアリマスガ、元アツタ所ノ弊害ハ除イタケレドモ、又所ニ依ツテハツレ以上ノ弊害ニナル所ノ住民稅ガ出來タト云フコトニナル部分モア

ルト思フ、全體トハ申シマセヌガ、サウ云フ部分モアルト思フ、デアリマスカラ、ドウカソレハ人頭稅ト云フヤウナコトヲ誤ラナイヤウニシテ貰ヒタイ、寧ロ是ハ撤廢サレタ方ガ宜イ、私ハサウ云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、之ニ對スル御答辯ヲ願ヒマス

○狹間政府委員 最高ノ制限ヲ撤廢スルト云フコトニナリマス、是ハ山川サンノ御意見デハ八圓、六圓、四圓ト云フ制限ハ殘スト云フ御考ダラウト思ヒマスガ、サウスルト是ハ此ノ稅ノ本質カラ益、遠ザカル危險ガ非常ニ多クナルト思ヒマス、八圓、六圓、四圓ト云フ各納稅者ノ最高平均額ト云フモノガ限定サレテ居リマシテ、サウシテ各人ノ納稅スベキ額ニ付テハ何等制限ヲ設ケナイト云フコトニナリマス、ソレハ此ノ稅ガ成ベク普通のニ各市町村民ニ負擔ヲサセルト云フ趣旨ヲ沒却スルヤウニナル處ガ非常ニ多イト思フノデアリマス、ソレカラ、此ノ稅ハ決シテ此ノ法律ヲ直接市町村民ニ賦課サルノデハナクテ、是ハマア全體ノ問題デスガ、基本原則ヲ法律ヲ以テ定メテ、サウシテ各市町村ガ其ノ市町村ノ意思ニ從ツテ實際ノ賦課ヲスルノデアリマスカラ、千圓ト云フモノハ各團體ヲ通ジテ一應ノ最高限デアツテ、町村ノ事情ニ應ジマシテ、其ノ村デハ百圓ノ最高ノ人モアルカモ知レナイシ、又他ノ町デハ三百圓ガ最高ノモノニナルカモ知レナイ、ソコハ各市町村ガ自由ニ定メ得ルノデアリマシテ、而シテ法律トシマシテハ餘リニ過重ナル負擔ヲ各人ニセシメテ、多數ノ者ガ負擔シナイト云フコトニナルコトヲ避ケル意味ニ於テ最高千圓ト云フコトヲ一律ニ決メテ居ルノデアツテ、ドノ

町デモ、ドノ村デモ最高ノモノハ皆千圓マデ取ルノダト云フノデナクテ、是ハ一應ノ制限デアルト云フコトヲ一ツ十分御含ミヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○山川委員 只今ノ……

○内藤委員長代理 同ジコトデスカ

○山川委員 同ジコトデス

○内藤委員長代理 今度ハ短クシテ下サイ、モウ直キアナタノ順番ガ來マスカラ、アナタノ御順位ノ時ニ十分ニヤツテ下サツテ……

○山川委員 承知シマシタ、短クヤリマス

只今ノハ八圓、六圓、四圓ト云フ制限ト云フモノガアリマスカラソナニ恐ロシイモノデヤナイノデス、四圓ト云フ所ノ制限ニ其處ノ住民ノ數ヲ掛ケテ見マシタラバ、金額ノ最高ト云フモノハ決ツテ居ルノダカラ、ソナニ恐ロシイモノデヤナイコトニナツテ來ル、唯其ノ掛ケ方ノ等差デス、非常ニソレヲ細カク割ツテ行クノト、非常ニ粗イ割方ヲスルト云フコトノ區別ガアルノデス、ソレデ町村ニ任スノデアリマスケレドモ、其ノ町村其ノモノハソレヲ定メルノハ村會議員ガ定メル、ソレハ信任ガアル所ノ村會議員ガ定メルノデアリマスガ、近頃其ノ模様ハ非常ニ變ツテ來テ居ル、是ハ最近ニ於テ市町村制ヲ改正ニナル一寸速記ヲ止メテ……

○内藤委員長代理 アナタガ自由ニ速記ヲ止メト言ウテハ困リマス、祕密ヲ要スルコトナラ委員長ガ然ルベクヤリマス、アナタノ質疑ハ關聯事項トシテト云フノデスカラ、ソレハ結構デスケレドモ、アナタハ今度アナタノ順番ノ時ニオヤリニナルノデスカラ、アナタノ順位ノ時ニウントオヤリニナツタラ宜シイ、人ノ時ニ關聯事項トシテ

ハ簡單ニ願ハナケレバ困リマス

○山川委員 私ノ時モ餘所デヤラレタデスカラ……(笑聲)

○内藤委員長代理 關聯事項デアナタニ他ノ人ノ順位ヲ取ラレテハ困リマスカラ、是ハ御注意ヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラ速記ニ付テハ、アナタガ一寸止メテカ何トカ云フコトハ困リマス、秩序ヲ案シマスカラ……若シアナタガ速記ヲ止メナケレバナラヌ理由ガアルナラバ、私ノ方ニ言ツテ下サイ——速記ハ續ケテ貰ヒマス

○山川委員 分リマシタ——詰リ只今ノ村會ノ性質ト云フモノハ非常ニ變ツテ來テ居ル、是ガ爲ニ吾々ノ親戚デモ都會ニ移住シテシマツタト云フコトニナツテ來テ居ル、サウスルト大キナ力ノモノハ其ノ方ガ得ダト云フコトニナツテ行クシ、力ノ小サイ千圓マデト云フモノハヤハリソコマデ來ルノデス、ドウシテモ下ノ方ニハホソノ五錢カ十錢課ケテ、上ノ方ノ三人ナラ三人、二人ナラ二人ニ行ツテシマフト云フヤウナ、サウ云フヤウナ性質ニ殆ドナツテ居ル、是ハ最近又規則ガ變ルダラウト思ヒマスカラ、其ノ時ニハ大イニ意見ヲ申上ゲマスガ、ドウカ今小見山君ガ言ハレルヤウニ、モウ一ツ御考直シヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○三好政府委員 局長カラ縷、御答辯ニナリマシタノデ、同ジコトヲ繰返スコトニナルカト思フノデアリマスガ、國民ノ稅負擔ノ見地カラシマスナラバ、今回ノ改正案ニ於キマシテ、中央地方ヲ通ジテノ稅負擔ノ均衡ト云フコトハ得ラレルコトニ相成ツテ居ルノデアリマシテ、此ノ上市町村民稅ト云フガ如キモノヲ設ケマシテ、ソレヲ併セテ負擔關係ヲ適正ニスルト云フ必要ハナイノ

デアリマス、各種ノ國稅地方稅ニ於テ、市町村民稅ヲ除キマシテ負擔關係ハ適正ニ得ラレルヤウニ出來テ居ル、斯ウ云フ積リナノデアリマス、ニモ拘ラズ市町村民稅ハ何故ニ設ケルカト申シマスレバ、結局平タク申シマス、今度ノ制度ニ相成リマスレバ、市町村ノ住民デアツテ市町村稅ヲ一文モ納メナイト云フ人間ガ多數出ル、是ガ自治ノ上カラ工合ガ悪いノデハナイカ、金持ノ方ノ問題ニナリマスレバ、或ハ土地ヲ持ツテ居ルトカ、或ハ家屋ヲ持ツテ居リマスノデ、其ノ附加稅ノ形ニ於キマシテ市町村ノ負擔ハ十分ニ分任ヲ致シテ居ルノガ通例デアリマスガ、サウデナクテ地租附加稅モ、家屋稅附加稅モ、營業稅附加稅モ一文モ納メナイト云フ階級ガ澤山出ル、是ハ地方自治ノ上カラ致シマシテ如何ナモノデアラウカ、現在ノ戶數割ヲ調ベテ見マス、實ニ六千町村位ノ大キナ町村ハ五十錢以下ト云フ小額ノ戶數割ヲ徵收致シテ居ルノデアリマス、若シ市町村民稅ヲ設ケズ、戶數割ヲ全廢致シマスナラバ斯ノ如キ多數ノ町村ニ於キマシテ納稅ヲ市町村ニ對シテ一文モシナイト云フ者ガ多數ニ生ズル、是ハ地方自治ノ上カラ見テ好マシクナイコトデハナイカト云フコトデ、結局市町村民稅ト云フモノハ、租稅理論ノ上カラハ、或ハ國民ノ負擔關係ノ上カラハ必ズシモ感心シナイケレドモ、地方自治ノ立場上、斯ノ如キ無納稅者ガ出テ來ルト云フコトハ宜クナイ、斯ウ云フ考デ設ケラレルモノデアリマス、隨ヒマシテ無納稅者ガ澤山出來ルト云フコトガ放ツテ置イテ宜イノカ、或ハ市町村民稅ト云フ負擔ノ理論、稅ノ理論カラ言ヘバ必ズシモ感心シナイ稅ヲ設ケテ、此ノ無納稅者ガ

ナイヤウニスルノガ宜イノカ、此ノ比較ノ問題デ此ノ稅ノ善イ惡イガ決マルノデアリマス、併シナガラ現在ノ地方自治ノ狀況ヲ眺メマスレバ、稅ハ一文モ納メナイ、併シナガラ選舉權ヲ持チ或ハ其ノ他ノ形ニ於テ主張ダケハスル、何等責任ハ持タナイト云フ者ガ多數出ルト云フコトハ、是ハ感心シナイコトデハナイカ、斯ウ云フ見地デ有エタルモノガ貧富ニ拘ラズ、必ズ税金ヲ納メルト云フ制度ヲ拵ヘタイト云フノ設ケルノガ市町村民稅デアリマス、サウ云フ趣旨デアリマスカラ、稅ノ理論ノ上カラ致シマスレバ、是ハ必ズ攻撃ガアリ宜クナイ所モ出テ來ルノデアリマス、若シ稅ノ理論ヨリ致シマスナラバ相當程度ノ免稅點ヲ設ケルベキデアリマス、又最高ノ制限ヲ設ケルベカラザルモノデアルト思フノデアリマスガ、ソコニサウ云フ趣旨ノ稅デゴザイマスカラ、免稅點モ公私ノ生活ノ扶助ヲ受ケルト云フ者ガ除外イテ、貧乏ナ者デモ税金ハ或ル程度納メサセル、其ノ代リ負擔關係ハ、他ノ諸稅ヲ通ジテ合理的ニ出來テ居リマスカラ、其ノ上ニ餘リ重ク課ケマス、今度ハ餘リニ富シダ方ノ階級ガ不合理ナ負擔ヲスルコトニナリマスカラ、ソコニ餘リ無理ノ掛ラヌヤウニ制限ヲシナケレバナラス、ソレガ千圓ガ宜イカ、五百圓ガ宜イカ、二千圓ガ宜イカ、是ハ結局遠觀デゴザイマスガ、千圓ト致シマスナラバ町村ニ付テ言ヘバ千圓一人納メル者ガ假リニアツタ、最高ノ千圓ニ當ル者ガ假リニアツタト致シマスレバ、實ニ二百五十人カラノ者ガ無稅ニナリ得ル、餘リ高ク致シマス、自然又税金ヲ納メナイ階級ヲ生ジ得ルコトニナリマスノデ、餘リ高クハ持ツテ行ケナイ、ソレデハ市ニ

付テハモツト高ク決メテ宜イデハナイカト云フコトニナリマスガ、實情カラ申シマスレバ、千圓ナラ千圓、二千圓ナラ二千圓、其ノ程度デ止メマスレバ、ソレ以上ノ所ハ、例ヘバ所得十萬圓トカ、二十萬圓以上ノ所ハ皆千圓ト云フコトニナルノデアリマスガ、ソレハ大都市ダケニ住ンデ居ルカト云フコトニナリマス、是ハ田舎ニモサウ云フ人ハヤハリ住ンデ居ル、サウスルト先程小見山サンカラモ御話ガゴザイマシタガ、アツチコツチ移動スルト云フ關係デゴザイマセデ、假リニ一十萬圓ノ所得ノアル金持ガ東京ニ住ンデ居リマシテモ、或ハ住吉村ニ住ンデ居リマシテモ、ヤハリ千圓ト云フコトデナケレバ合理的ナ制限ニナラヌノデヤナカラウカ、斯ウ云フ考デ一律ノ制限ニ致シタヤウナ次第デアリマス、繰返シテ同ジコトヲ申上ゲルヤウデゴザイマスガ、御參考マデニ申上ゲタノデアリマス

○内藤委員長代理 小見山君大臣ニ質疑ヲセラレンコトヲ望ミマス

○小見山委員 今ノ結論ダケヲ申上ゲテ置キマス、市町村民稅ヲ設ケラレタ趣旨ハ能ク分ツテ居リマス、稅制改革ノ結果納稅ヲ全クシナカウタ貧乏ナ者デモ多少ノ税金ヲ課ス、サウシテソレニ國民タル資格、地方民タル資格ヲ與ヘル、是ハ分ツテ居マス、然ルニソレヲ均一ニスルコトハ不適當ダカラ、最高千圓ニシタト仰シヤル、最高千圓トシナケレバナラヌ事情ガアル限リハ、其ノ最高ノ千圓ハ五百圓ガ宜イノカ、千圓ガ宜イノカ、二千圓ガ宜イノカト云フ問題ガ必ズ起ツテ來ル、而モ私ノ言フ實際ノ問題トシテハ大富豪ト小富豪ノ間ニ非常ナ不均衡ヲ生ズル、大體稅ノ本質カラ均衡不均衡

ノ問題ハナイ管デスケレドモ、苟モ最高千圓ト決メタ以上ハ必ズ茲ニ稅ノ本質カラ差違ガアル、サウスレバヤハリ實際ニ應ジテ大都市或ハ普通ノ都市、町村ニ於テ三段位ニ分ケタラ宜クハナイカ、一萬圓、三千圓、一千圓ト云フコトハ必ズシモ固執ハ致シマセヌガ、必ズソコニ相當ノ差等ヲ付ケルコトガ本當デハナイカト云フコトヲ私ハ申上ゲテ置キマス、是ハモウ分リ切ツタ問題デアリマスカラ次ニ進メマス

○内藤委員長代理 十二時半マデノ御豫定デ内務大臣ニ質疑ヲ願ヒマス

○小見山委員 内務大臣ニ御尋シタイノハ、殊ニ地方稅制ニ關聯致シテ居ルコトデアリマスガ、ドウシテモ大臣カラ直接御聽シナケレバナラナイト思ヒマスカラ特ニ内務大臣ニ御出席願ツタ次第デアリマスガ、元來地方稅ノ改革ト云フハ、單ニ課稅徵收ノ上ノ簡易便宜ト云フ、事務的技術的ノコト以外ニ、稅制ガ其ノ地方ノ自治團體ノ運用機能ニドウ云フ影響ヲ與ヘルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラス、隨テ此ノ稅制ノ改革案ヲ實施スルト同時ニ、實ハ地方制度ノ改革モ致スベキデアルト云フコトハ屢々本會議以來各位カラ述べラレテ居ツタノデアリマス、私ハ地方ノ自治體ト財政ハ、丁度國家ノ財政ト國政トガ離レバカラザル關係ガアルヤウニ、地方ノ財政ト地方ノ自治モ亦密接不可分ノ關係ガアルノデアリマスカラ、先ヅ私ハ地方自治體ニ對スル内務大臣ノ根本的ナ御所信ヲ此ノ際豫メ御尋申上ゲタイノデアリマス、簡單ニ露骨ニ申上ゲマス、地方制度ノ改革ト云フコトハ數年來ノ問題トナツテ居リマスシ、内務大臣モ是ハ成ルベク速ニ地方制度ノ改革案ヲ提案

シナケレバナラヌト御答辯ニナツテ居リマスガ、其ノ根本方針トシテ内務大臣ハ今後地方團體ノ機能ヲ益、強化シ地方自治體ヲシテ將來益、鞏固ナル發達ヲサセナケレバナラヌト云フ御信念デアルノデアルカ、是ハ甚ダ分り切ツタコトノヤウデアリマスガ念ノ爲ニ御聽シタイ、或ハ又地方自治團體ハ大事ナモノデアアルガ、我國ニ町村制、府縣制ガ施行セラレテ以來今日マデ約五十年ノ歴史ヲ顧ルト、ドウモ當時ノ期待ニ反スルコトガ多ク、弊害百出シ、到底此ノ儘デハ満足スベキ地方自治體ノ發達ハ出來ナイカラ、地方自治ハ或ル程度ニ止メ、漸次自治ノ機能ヲ抑制シ、權限ヲ中央ニ集中シタガ却テ國家ノ爲地方ノ爲ニ宜クハナイカ、斯ウ云フ見方モアルガ、此ノ二ツノ何レデアルカ、之ヲ先ヅ内務大臣ニ御尋シタイノデアリマス

○兒玉國務大臣 憲政ヲ布カレマシテカラ今日マデノ立憲政治ノ發達、竝ニ之ニ伴フ地方自治ノ發達ノ經過ヲ考ヘテ見マシテ、國力が發展シ、人智ガ進ミ、國內ノ事情ガ段々複雑ニナツテ來ルヤウナ情勢ニ適應致シマスルノニハ、ドウシテモ國ノ成立チノ細胞ニ力ヲ付ケテ行カナケレバイカヌ、此ノ細胞ニ力ヲ付ケナイデ或ハ中途ノ團體、或ハ中央ニノミ力ヲ盡スト云フコトハ國ノ發達ノ上カラ私ハ矛盾スルモノデナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ國ノ行政ノ根幹ヲ成シマスル所ノ地方團體ノ自治的ノ發達ハ、之ヲ飽クマデモ助長シテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、然ラバ如何ナル方向ニ向ツテ地方自治ノ發達ヲ促シテ行ツタラバ便宜カト云フ事柄ヲ考ヘテ見マスルト、段々ニ國家ガ法的國家ヨリ

經濟的國家ニ移リツツアル今日ノ情勢ヲ見マスルナラバ、地方自治ノ經濟的機能ト申シマスカ、其ノ方面ニ向ツテモ大イニ力ヲ付ケテ行クコトガ本當ニ地方ノ發達ヲ促進展ヲ見ルノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ反シ我國ノ國民ハ地方自治ヲ運用スルノ能力ニ乏シイカラ、出來ルダケ中央集權ヲ基礎トシテ、地方ヲ飽クマデモ引張ツテ行カウト云フ方法ガ宜イデハナイカト云フ御議論ニ對シマシテハ、私ハ根本ノ方針トシテ前段ノ方針ヲ執ツテ行キタイモノト思フノデアリマス、併シナガラ自治ノ精神ト申シマシテモ、ドノ點マデ自治ヲ許シテ行クコトガ國家全體ノ利益デアアルカト云フ事柄ハ、派生的ニ考ヘテ行カナケレバナラヌコトデアリマス、即チ國家ノ機能ト地方自治トノ調和ヲ圖リマシテ、而シテ其ノ宜シキヲ得テ初メテ地方自治ト云フモノガ國家ノ進運ニ伴ツテ圓滿ナル發達ヲナスモノナリ、斯ウ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○小見山委員 只今ノ内務大臣ノ自治制ニ對スル根本的ノ御方針ハ私ノ洵ニ満足スル所デアリマシテ、私ノ申シマシタ第一段ノ自治強化ノ方向ニ向ツテ進ムベキハ、是ハ當然ダラウト思ツテ居リマス、又近來時勢ノ進運ニ伴ヒマシテ、所謂法律ヅクメノ法的國家カラ經濟的ノ國家ニ移動シツツアリ、又地方自治體モ同様デアアルト云フ御説モ同感デアリマス、之ニ伴ツテ從來ノ缺陷ヲ是正シ、弊害ヲ防止シ、或ハ新シイ情勢ニ應ズベキ地方制度ノ改革ヲシナクテハナラヌ機運ガ到達シテ居ルコトモ是亦事實デアリマス、併シ茲ニ私ハ内務大臣ノ僞ラザル御

考ヲ御聽シテ、將來ノ吾々ノ動向ヲ決シタイト思フコトハ、此ノ地方制度改革ノ機運ニ動モスレバ便乘致シマシテ、實際必要以上ノ改革ヲ試ミ、何ト言ヒマスカ、官僚政治、獨裁政治ト言ヒマスカ、「フアッシュ」思想ト言ヒマスカ、サウ云フ官僚獨裁政治的ノ基礎的工作トシテ、先ヅ國家構成ノ單位細胞デアアル町村ノ權限ヲ、人知レス間ニ漸次縮小シテ其ノ機能ヲ抑制スル、有ユル權限ヲ中央ニ集中シテ、他日中央官憲ノ意思ノ儘ニ府縣長官ヲ通ジテ機械的ニ動力シ得ルコトヲ、唯一ノ目的トスルヤウナ機構ノ編成替ヲ計畫シテ居ル所ノ一種ノ思想的ノ傾向ガ、近年私ハ一部ノ者ニアリハシナイカト思フ、或ハ政府ノ部内ニモサウ云フ思想、サウ云フ前提ノ下ニ、先ヅ國家ヲ獨裁的、專制的、官僚的ノ政治ニ導ク爲ニ、國家ノ基礎的單位デアアル町村ノ權限ヲ中央ニ握ツテシマツテ、一本ノ絲ヲ引ケバ全國民ガ機械的ニ踊ルト云フヤウナ機構ノ編成替ヲ計畫シ、夢ミテ居ル人ガ一部ニハアルノデヤナイカト思フ、今更私ガ申スマデモナク、今我國ハ非常時局ノ渦中ニアル、私共ノ見ル所デハ、今マデノ日支事變ノ如キハ、是非非常時ノ入口デアアル、此ノ後十數年、或ハ數十年ノ長キニ亙ツテ此ノ事變處理ノ完成、即チ東亞新秩序ヲ建設スル爲ニハ、吾々ハ想像以上ノ大キナ努力、大キナ覺悟決心ヲ以テ臨マナケレバ、此ノ千古未曾有ノ大業ヲ完成スルコトハ出來ナイト思フ、此ノ大業遂行、所謂東亞新秩序建設ノ原動力デアアル我が日本、其ノ我國ノ更ニ原動力タル根柢ハ何ト云ツテモ地方民ニアリ、文明ハ都會ニ集中シ、文化ハ都會ニ盛ニナリ、總テノ物質文明ハ都會ニ集中シ

テ、國ノ總力ハ都會ニアルカノ如ク一應ハ見エマスガ、實際國ノ底力ハ地方民ノ間ニアル、中央ハ地方ノ此ノ底力ヲ綜合シテ國家ノ爲ニ之ヲ運用シテ居ルニ過ギヌ、茲ニ地方制度ノ改革ヲ爲シ、地方稅制ノ改革ヲ爲スニ當ツテ、誤マツテ此ノ地方町村ノ民心ヲ萎靡沈滞セシメ、産業教育ノ發達ヲ阻碍シ、頭バカリ大キクナツテ手足ハ瘦セ細ルガ如キ政治ヲ爲スコトハ、國家將來ノ爲ニ絶對ニ爲スベカラザルコトデアツテ、今アナタノ仰ツシヤウタヤウニ、今後吾々ハ益々地方自治體ノ強化發達ヲ計畫シ、其ノ實現ノ爲ニ努力シナケレバナラヌト思フノデアリマス、幸ヒ私ト御同感デアアルト云フ内務大臣ノ前提ノ下ニ、アナタノ御立場カラ斯ウ云フ風ニ地方制度ヲ改革シタイト云フ具體的ノ御考ハアツテモ、此ノ場合マダ御發表ハアリマスマイ、併シナガラ既ニ內相ニ御就任ニナツタ以上、内務大臣トシテ最モ大キナ仕事ノ一ツデアアル地方制度ノ改革ハ、内務大臣ニ御就任ノ時カラ或ハ在野ノ時カラ既ニ何等カノ御方針御腹案ガナケレバナラナイ、此ノ問題ダケハ私ハアナタ自身ノ頭カラ編出シテ貫ヒタイ、私ハ先刻カラ頻リニ官僚獨裁ト云ツテ居ルガ、アナタモ官僚ノ御一人デアアルケレドモ、私ノ御見受ケスル所デハ、官僚ノ中デモ物ノオ分リニナル、垢拔ケノシタ官僚ト思フ、サウ云フ大官僚デアアルアナタノ御意思ヲ一ツ伺ツテ見タイ、此ノ頃ノ重要ナル法案ハ、動トモスレバ下僚ガ持ヘテ大臣ニ之ヲ見セテ、斯ウ云フモノガ今日ノ時勢上必要ダカラ、之ヲ是非アナタノ力デ閣議ニモ諮リ、議會ヲモ通過スルヤウニ努力シテ下サイ、斯ウ云フ風ニ下僚ガ機械的ニ、技術的ニ所謂机上

「プラン」デ拵へ上ゲタ法案ガ、動トモスレバ是ガ重要法案トナツテ、大臣ノ机ノ前ヲ素通りシテ議會ニ現ハレル、是ガ又通過シテ實施サレルト云フヤウナコトヲ私共ハ間々見受ケル、此ノ地方制度ノ改革ハ――甚ダ此處ニ内務省ノ下僚ノ方前ニシテ失禮デアリマスケレドモ、下僚ノ方ガ技術的ニ、事務的ニ、學理的ニ作り上ゲタ其ノ「プラン」ヲ、其ノ儘アナタガ持ツテ來ルコトダケハ是非止メテ戴キタイ、アナタノ頭カラ根本方針ヲ決メテ、即チ地方ノ權限ヲ中央ニ取上ゲテ、地方ノ機能ヲ抑制スルヤウナコトヲシナイデ、地方ノ機能ヲ益、強化シテ、地方ノ鞏固ナル發達ヲ圖ル、之ヲ目標トシテ立案シテ行クノダ斯ウ云フ風ニシテ地方制度ノ改革案ヲ御作りナサルコトヲ御願スルノデアリマスガ、ソレハ今日ノ問題デハナイ、近キ將來ノ問題デアリマセウガ、併シナガラ其ノ根本方針ダケハモウ既ニ出來テアナタノ腹ノ中ニナケレバナラス、ソレヲ一ツ御聽カセテ願ヒタイと思フノデアリマス、ソレニハ是ダケデハ何トモ御話ノ仕様ガアリマスマイガ、幸ニシテ一昨年デアリマシタカ、内務省ニ地方局案ナルモノガ出來テ居リマス、サウシテハ全國ノ町村長會ナドニ諮問ヲ致サレマシテ、昨年ノ議會ニ將ニ提案サレントシタ、私共ハアノ要綱ヲ見テ實ニ驚イタ、私共ハアノ要綱ニハ實際ハ反對デアル、議會ニ於ケル反對ノ空氣濃厚ナルヲ見テ、アレハ其ノ時ノ木戸サンガ是モ中々物ノ分ツタ人デ、コナ所ニコナ法案ヲ出シテハ拙イカラ、自分ノ責任ニ於テ引込マシタ、到頭提案ガナカツタカラ、洵ニ國家ノ爲ニ幸福デアリマシタ、其ノ地方局案ノ内容ハ今尙ホ私ハ

地方局ニ其ノ儘大事ナ御本尊トシテ殘ツテ居ルニ違ヒナイと思フ、之ヲ議會ノ空氣ヲ見、自分ノ親玉ノ大臣ニ願フテ是非通シテ見タイト云フ御考ハ今尙ホ數年來内務省ノ机上ニ私ハ殘ツテ居ルト思フ、其ノ案ハ私ガ茲ニ事新シク申上ゲルマデモナク、色々私共ノ敬服スベキ點モアリマスガ、一番吾ノ頭ニ殘ツテ居ルハ町村改革機構ニ、各種産業團體ノ代表者ヲ入レル、即チ産業組合長トカ、農會長、斯ウ云フ主ナル産業團體ノ代表者ガ其ノ儘町村會議員ニナルト云フ案、自治功勞者、或ハ名望家、篤農家ヲ町村長ノ推薦ニ依ツテ特選スル、是ハ定數ノ三分ノ一デアアル、斯ウ云フノガアリマス、更ニ又此ノ改革案ニ依レバ町村長ノ權限ガ相當擴張サレカ、此ノ權限ノ擴張サレタル町村長ハドウ云フコトヲスルカ分ラヌカラ、之ヲ戒飭スル權限ヲ監督官廳ニ與ヘル、或ハ小學校長ヲ議事ニ參加サセルトカ、是ハ町村自治制ノ方デアリマスルガ、府縣制ノ改革案ノ中ニ於テハ、府縣會ノ權限ヲ縮小シテ今參事會デヤツテ居ル採決ノ如キハ、縣會議員タル參事會員及ビ府縣ノ高等官以外ノ他ノ官廳ノ役人ヲ入レテ、其ノ解決ヘノ一助ヲラシメル、斯ウ云フコトモヤツテ居ル、斯ウ云フコトハ相當考慮スベキモノモアリマセウガ、是ハ甚シク産業自治ト自治ト混同シタモノデアアル、之ニ對スル一ツ批評ハ今其ノ法案ヲ審議シテ居ルノデハナイカラ申シマセウガ、假ニ産業組合長ガ其ノ儘町村會議員ニナレルモノトシタラ、此ノ産業組合長ノ選舉ハ非常ニ激烈ナ競争ガ起リ、幾多ノ弊ノ起ツテ來ルコトハ、火ヲ賭ルヨリモ明カデアアル、産業組合長ガ町村會議員タルコトヲ得レバ一石二

鳥デアアルガ、必ズ爭ガ起ツテ來ル、詰リ政治ト産業ハ密接離ルベカラザル關係ガアツテ、而モ車ノ兩輪ノ如ク地方デハ並行シテ行ツテ居ル、ソレガゴツチャニナツテ混亂シテ政爭ノ渦中ニ投ゼラレルト云フコトハ、非常ニ遺憾デアルト思フ、斯ウ云フコトヲアナタハヤツタ方ガ宜イト云フ御考ガアルノデアルカ、ソレカラ又更ニ私ハ地方自治ト地方産業トノ關係ヲドウスレバ宜イカト云フコトニ付テ、私ハ内務大臣ガ茲ニ深甚ノ考慮ヲ拂ツテ置カレル必要ガアルと思フ、只今御話ノ法的ノ國家カラ段々經濟國家ニナツテ行ク、成程地方モ農村自治、産業自治ト言ハレル程、法律一點張り、規則一點張りデハ自治ハ旨クヤツテ行ケナイ、必ズ地方ノ發達ハ産業ノ發達ニ據ツテ居リマスカデ、是ハ密接離ルベカラザル關係ニアルコトハ當然デアリマスガ、ト云ツテ是ガ一緒ニナツテハ非常ニ惡イノデアアル、飽クマデモ政治ト經濟、自治ト地方ノ産業ハ密接デナケレバナラス、車ノ兩輪ノ如クデナケレバナラス、遊離シテハイケナイガ、又ソレト同時ニ地方自治ト産業其ノモノハヤハリ別デナケレバナリマセウ、二ツデアツテ而モソレガ融和シナケレバナラス所ニ茲ニ私ハ重大ナル意義ガアルと思フノデアリマス、具體的ニ言フト産業團體ハ決シテ地方ニ於テ是ハ政治團體デアアルコトハ出來マセウ、産業組合ガ地方ノ政治ニ直接關與スルコトハ出來ナイガ、動モスレバ此ノ産業團體ガ政治團體ニナラウトスルヤウナ傾向ガ私ハ見ラレルト思フ、地方ニ於キマシテハ決シテ此ノ産業團體、殊ニ産業組合ノ如キ、或ハ農會ノ如キ、或ハ漁業共同組合ノ如キ、此ノ地方ノ町村ノ自治體トハ少シモ摩擦ガア

リマセウ、私ハ今日ノ産業組合ノ如キハ全國ニ産業組合ハ到ル所普及シテ居リマスガ、此ノ産業組合ハ現在ノ所デハ其ノ組合ノ本來ノ使命、機能ヲ活用發揮スルガ爲ニ、今發達ノ途上ニアル大事ナ時デアアル、連モ地方ノ政治ニ關與シテ騒イデ居ルベキ時デハナイ、併シナガラドウモ地方ハ實ニ純理一點張りデ産業ト政治ハ儼然トシテ決定サレ、其ノ間ニ混同ヲ見ズ、而モ兩立シテ遊離セズ、立派ニヤツテ行ケル狀態デアアル、今後益、發達スルト思ヒマスルガ、併シ遺憾ナガラ動モスレバ中央ニ於キマシテハ、此ノ産業組合ヲ一種ノ政治團體トラシメントスルヤウナ、遠大ナル計畫ガ中央ノ首腦者ノ間ニアルノデハナイカト云フ噂ガサレテ居ル、之ヲハツキリ申シマス、今回ノ産業組合ノ共濟會ガ保險事業ヲ經營スルト云フコトデ大キナ問題ニナツテ居ル、アノ問題ノ如キハ、表面ハ成程産業組合ノ役職員ガ二十五万人居ルガ、月給ガ安クテ生活ガ困ルカラ、斯ウ云フ救濟策ヲ作ツテ役職員ニ與ヘルト云フコトハ、是ハ其ノ役職員ノ生活ヲ助ケ、且ツ産業組合ガ保險ノ募集、其ノ他ニ從事スレバ成績モ舉ルト云フヤウナ當然ノ理由デアラウト思ヒマスガ、併シナガラソレハ表面ノ理由デアツテ、其ノ裏面ニハ又全國ノ産業組合ヲ自分ノ政治的進出ノ踏臺、足場ニセントシテ斯ウ云フ計畫ヲシタノデハナカラウカト云フ臆測ヲスル者ガアル、私ハ萬一斯様ナコトニ立至ルナラバ、地方制度ノ改革ノ如キ、地方ノ自治ノ發達ノ如キハ根柢カラ覆サレテシマフ、産業團體ハ政治團體ニナリ惡弊百出シ、地方ノ自治モ産業ノ發達モ滅茶苦茶ニナルト私ハ憂慮致シテ居リマス、所ガモウ私ハ此ノ議會ガ濟

ンダラ直グ著手サレト思ヒマスガ、地方制度ノ改革、速ニ改革スベキ機運ニ迫ツテ居ル地方制度ノ改革ヲ爲スニ當ツテハ、先ヅ私ガ斯様ニ申上ゲルコトヲ腹ノ底ニ置カレマシテ、之ニ十分ノ御考慮ヲ拂ツテ、將來ノ惡弊ノ源アルヤウナ地方制度ガ出來ナイヤウニ、地方制度本來ノ使命ヲ達成シ、本來ノ面目ヲ發揮シ得ルヤウナ地方制度改革案ヲ、此ノ趣旨ニ依ツテ大方針ヲ定メテ下僚ニ勸メラレタイト云フコトヲ希望スルノデアリマス、ソレレ具體的ニハ言ヘマセヌデセウガ、大體ノ内務大臣トシテノ腹藏ナキ、僞ラザル根本方針ヲ私ニ御聽カセ下サランコトヲ、私ハ此ノ際特ニ御願スル者デアリマス

○兒玉國務大臣 只今立憲政治ニ觸レマシタ御議論ヨリ、地方制度問題ニ至リマシテ色々ト御高見ヲ拜聽致シマシタ、洵ニ有難ク存ズル次第デアリマス、御述ニナリマシタ通りニ、今日ノ政治改革ト申シマスモノヲ豫想シテ居ル人ノ中ニハ、或ハ「フアッシュ」的ノ氣分ヲ濃厚ニ織込マナケレバナラスト云フヤウナ考ヲ持ツテ居ル人ガアルヤニ思フノデアリマス、私ハ飽クマデモ今日ノ我國ノ政治形態ト致シマシテハ、憲法ニ基キマスル立憲政治ノ發展ヲ期セナケレバナラスト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ地方制度ヲ檢討スル上ニ於キマシテモ同様ノ精神ヲ以テマシテ、其ノ地方制度ノ改革ハ地方ニ十分ナル資力ト力トヲ持ツテ、サウシテ圓滿ナ地方行政ノ運用ガ出來マスルヤウニ考ヘナケレバナラスト思フテ居ルノデアリマス、即チ地方制度改革ノ根本ノ方針ハ、自治ノ精神ヲ飽クマデモ擴充スルト同時ニ、時代ニ適應スベク其ノ

運用ノ滑カナランコトヲ期スル點ヲ根本ト致シマシテ、茲ニ地方制度ハ確立シナケレバナラスト、斯ウ思フテ居ルノデアリマス、其ノ點ハ曩ニ申上ゲタ通りデアルノデアリマス、然ラバ地方制度全體ヲ定メル上ニ於テドウ云フ方針ヲ具體的ニ執ルデアラウカ、此ノ御質問ニ對シテ實ハ今日マダ明確ニ御答申上ゲルダケノ見當ガ私ニ出來テ居ラスノデアリマス、出來テ居レバ無論此ノ稅制ニ伴ヒマシテ地方制度ノ一部分タリトモ御審議ヲ仰グベク、努力シナケレバナラストデアリマス、今日只今マデ内務省ヲ中心ト致シマシテ研究致シ、或ハ委員會ノ決議トナツテ居リマスル所ニ對シテ、如何ニ之ヲ取計ラウベキヤト云フ私ノ自信的ノ、所謂肚カラ出タ所ノ意見ヲ申上ゲルマデニ、實ハ達シテ居ナイノデアリマス、幸ニ只今此ノ點ニ觸レテ有益ナル御説ヲ拜聽致シマシタノデ、私ト致シマシテモ御意見ノアル所ヲ參酌致シマシテ、近キ將來ニ於テ此ノ問題ヲ檢討スル上ニ於キマスル有力ナル資料ニ供シテ、而シテ私ノ信念ニ觸レテ誤ラザル法制ヲ立テルコトニ努力シタイと思ヒマス、甚ダ遺憾デアリマス、其ノ點ニ付テドウ云フ考ヲ持ツテ居ルカト云フ事柄ヲ、具體的ニ申上ゲルマデノ機會ニ到達シテ居ラスト云フコトヲ御諒承願ヒマシテ、暫ラクノ間時間ヲ御猶豫願ヒタイ、斯ウ思ヒマス

○小見山委員 大體根本御方針ニ對シマシテハ、私ハ内務大臣ノ御考ニ洵ニ満足ヲ致シテ居リマス、又ソレ以上ノ御答辯ハ今日御困難デアラウト云フコトモ想像シテ居リマスガ、重ネテ申上ゲマス、ドウカハ虛心坦懷ニアナタ御自身ノ肚カラ大綱ヲ立テ

テ戴キタイ、ソレカラ又尙ホ一ツ、是ハ失禮デアリマスガ、從來ノ案ニ因ハレナイヤウニ、アナタノ下僚ノ人達ノ御意見、固ヨリ尊重ナサル必要アルニ違ヒナイガ、是ハ相當御考慮ヲ希望スル、町村ノ人々ノ立場カラ考ヘテ、取捨スベキモノデアラウト思フ、私ハ更ニ他日機會ガアリマシタラバ、此ノ問題ニ付キマシテハ十分私ノ私見ヲ大臣ニ申上ゲテ見タイ、此ノ點ニ關シテハ唯將來ノ御善處ヲ要望致シテ置キマス

次ニ是ハ小サイ問題ニナリマスガ、町村吏員ノ問題デアリマス、私ハ町村長ヲヤツタ經驗モアリマスガ、ドウモ最近地方ノ町村ノ事務ガ非常ニ澁滞ヲ來シテ、敏活ヲ缺イテ居ル、是ハ何故デアルカ、色々原因モアリマスガ、兎ニ角中央ナリ或ハ府縣廳ナリカラ、何カ調査報告ヲ命ズル、中々府縣ニ集ツテ來ナイ、場合ニ依ツテハオ前ノ村ニ斯ウ云フ扶助ヲ受ケル希望者ガアレバ、農林省カラ斯ウ云フ、内務省カラ斯ウ云フ通牒ガ來テ居ルカラ、扶助ヲシテヤルト云フヤウナコトヲ言ツテヤツテモ、ソレニ對シテ扶助ノ申請ヲスルナリ、或ハ其ノ地方民ニ對シテサウ云フ必要ガナイカト云フコトヲ能ク話シテ、時機ヲ逸シナイヤウニ扶助ノ申請ヲスルヤウナ事スラモ遲レ勝チデアアル、全ク町村事務ハ或ル意味ニ於テハ混亂ノ狀態デアアル、唯國家ノ重大時デアリマスカラ、兵事事務ダケハ總テニ優先シテ處理シテ居ルガ、其ノ他ノモノハ非常ニ澁滞シテ居ル、其ノ原因ハ何デアルカ、別ニ是ハ町村吏員ノ責任ノミデハナイ、第一ハ、先日國家事務ノ委任ニ關スル書類ヲ戴キマシガ、アレヲ見テ分ルノデアリマスガ、國家ノ事務モ、町村自身ノ仕事ノ數倍ノ仕事ヲ

委任サレテ居ル、此ノ事務ニ忙殺サレル、ソレカラモウ一ツハ、一番重要ナ原因ハ人ガ足ラナイ、何故足ラナイカ、今日アナタ方ガ内務省デ下ノ方ノ役人ヲ入レルニシテモ、府縣廳デ商工課ニ何人要ル、農務課ニ何人要ルト云ツテモ、中々人ガ集ラナイ、況ヤ地方ニハ人ガ少イ、其ノ原因ハ何デアルカ、是ハ要スルニ町村吏員ニ對スル待遇ガ餘リニ菲薄ナ爲デアリマス、物價ハ上ツテ居ル、然ルニ町村役場ノ書記ノ平均俸給ガ幾ラニナツテ居ルカ私知リマセヌガ、凡ソ三十圓カ四十圓ノモノデアリマス、ソレガ從來ノ二倍、三倍、四倍ノ仕事ヲ机上ニ山ト積ンデスル、中々手ガ届カヌ、新シク人ヲ採用セントスレバ、皆其ノ薄給ノ所ヘ行カナイデ、相當優遇サレル所ニ行ツテシマフ、都會ニ行ク、知識的ニモ「インテリ」階級ナル者ハ、町村ニ殆ド存在シテ居ナイ、是ガ爲ニ役場ノ吏員ノ採用ニ當ツテモ非常ナ困難ヲ告ゲテ居ル、ドウシテモ是ハ何トカシナケレバイケナイ、大體町村長ノ俸給ガ非常ニ安イト思フ、名譽職ニ澤山ノ俸給ヲヤル必要ハナイト言ハレルカモ知レヌガ、今日ノ町村長ハ昔ノ名譽職ノヤウナモノデハナイ、且那サンガ町村長ニナツテ、一週間ニ二度カ三度町村役場ニ來テ歸ルヤウナコトハ違フ、朝カラ晩マデ働イテ居ル、是ニハ相當ナ報酬ヲヤラナケレバナラスト、況ヤ其ノ部下ノ仕事ヲシテ居ル町村吏員ニハ、優待ノ途ヲ講ジナケレバナラスト、唯幾分補助ヲスルトカ何トカ云フヤウナ輕微ナコトデナク、所謂負擔區分トカ何トカ、ソシナ方カラ或ル一種ノ法律規則制度ヲ茲ニ擴充シテ、國家ノ官吏、府縣ノ官吏ノ一種ノ延長、連續的ノ性格ヲ持タシ

テヤラナケレバ、將來幾ラ地方制度ヲ改革シテモ、自治運営ノ上ニ一大支障ヲ來スト私ハ考ヘテ居リマス、斯ウ云フコトハ專門家デアラレル地方局長ハ、定メシ御研究モアラウシ、腹案モアラウト思ヒマス、是ハ絶對ニ必要ナコトデアリマス、ヤラナケレバ行詰ツテシマフ、之ニ對シテドウ云フ御考デアリマスカ、是ハ大臣デナクテモ、地方局長カラデモ宜シウゴザイマス、御答辯ヲ願ヒマス

○兒玉國務大臣 地方事務ノ繁劇竝ニ地方吏員ノ待遇ノ改善、是ハ私ハ全然御同感ヲ表シタイト思ヒマス、丁度市町村ガ國ノ政治ノ單位ヲ成シテ居ルモノデアリマスカラ、獨リ委任事務、固有事務ガ殖エテ居ルミナラズ、昨今ノヤウナ時勢ニナリマスルト、各省ガ皆自分ノモノノ如ク考ヘマシテ、非常ニ面倒ナ調査ヲ言付ケル、此ノ調査ニハ餘程困ツテ居ルヲシイト云フ實情ニ、私ハ同情ヲ表シテ居ルノデアリマス、何トカシテ中央カラ行キマスル所ノ調査事項、是等ニ付テモモウ少シ統制ノアル、簡易ナル方法ヲ以テシタナラバ、地方ノ吏員トシテハ助カル點ガアルノデハナイダラウカト云フ風ニ實ハ考ヘテ居リマスルノデ、獨リ固有事務ナリ、國ノ委任事務ナリノ點ヲ考ヘルノミナラズ、何ノ考慮モナシニ、市町村ヘ言ツタナラバ、都合ノ好イ調査報告ガ出來ルダラウト思ウテ、二重ニモ三重ニモ同じヤウナ、似寄ツタムツカシイ調査ガ地方ノ方ヘ廻ツテ來ル、ソレヲ急イデヤレ、急イデヤレト言ハレルノデ、町村ノ仕事ハ棚ニ上ゲテモ、其ノ方ニ努力シナケレバナラヌト云フ窮狀ハ、全ク市町村ノ罪ニアルニアラズシテ、中央ニ於テ何トカ考ヘナケレバナラヌ

點ガアル、是ハ事務上ノ問題ニ於テ御話ノ通りニ甚ダ惡イコトデアアル、改善ヲシナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、ソレハ別ト致シマシテ、地方吏員ノ優遇ノ途、即チ今日ノ生活保障ノ關係カラ見マシテモ、之ヲ何トカシナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ一面ニ於テ今回ノ稅制ノ改正ト致シマシテ、配付稅等ノ關係ニ於キマシテ、幾ラカ茲ニ町村ニ餘裕ヲ生ジ、其ノ餘裕ヲ生ジタ結果ガ、一部ニハ施設ノ方ニモ參リマセウガ、一面ニ於テハ待遇ノ方ニモ參ルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ期待シテ居ルノデアリマス、而シテ現實ノ問題ト致シマシテ、其ノ點ヲ幾ラカナリトモ除去シテ行キタイト云フ考カラ、町村補充ノ助成費ヲ十四年度ニ於テハ二百萬圓、十五年度ニ於テハ五百七十萬圓支出スルコトニナツテ居リマスノデ、兎モ角モ各町村ニ一人ツツノ手助ケヲスルト云フ金ガ見込シテ居ルノデアリマス、又町村吏員ノ互助組合ノ補助ト致シマシテ、十五年度ニ百萬圓程ノ豫算ガ見積ツテアリマスガ、之ニ依ツテ退職ノ時ニ幾ラカノ優遇ノ途ヲ開クト云フ事柄モ、現ニ考ヘテ居ル所デアリマス、併シナガラ之ニ依ツテ直チニ地方吏員ノ優遇ノ途ガ講ゼラレタトハ、私ハ考ヘテ居ラナイ者デアリマス、此ノ點ニ付テハ一般下級官吏ト共ニ、將來トモ考ヘナケレバナラヌ大キナ問題ト、斯ウ心得テ居ルノデアリマス

○小見山委員 ソレカラ配付稅ノ問題デスガ、是ハ平年度一箇年三億二千七百萬圓ノ中、六割二分ハ府縣、三割八分ハ市町村ト云フコトニナツテ居リマス、所ガ市町村ノ分トシテ一億四千二百六十萬圓デアリマス

ガ、大都市ニモ分ケテヤル其ノ金額ガ分ツテ居リマスレバ一寸御伺致シマス

○挾間政府委員 是ハ全部御手許ニ差上ゲマシタ表ノ中ニモ出テ居ルト思ヒマスガ、一寸此處デ申シマス、大都市ノ方ニ千二百萬圓、都市ニ千四百萬圓、町村ノ配付稅ガ九千八百萬圓、合計一億二千四百萬圓ト云フコトニナツテ居リマス

○小見山委員 一寸一點ダケ御伺致シマス、配付稅ハ所得稅、法人稅ノ一割六分五厘五毛、ソレニ遊興飲食稅、入場稅ノ五割トナツテ居リマスガ、是ハ所得稅、法人稅、遊興飲食稅、入場稅ト、斯様ニ各種ノ稅ヲ併合サシタ方ガ、地方ノ稅收入ノ上ニ安定ガアルト云フヤウナ御考デアアルカ、之ヲ私ハ御伺シタイ、ソレカラ其ノ次ニ、言フマデモナク遊興飲食稅、入場稅ノ如キハ非常ニ安定性ガナイ、來年度ハ一億數千萬圓近クノ豫算トナツテ居リマスガ、是ガ一朝不景氣ニナツタラ一億數千萬圓ノ遊興飲食稅ハ、三千万圓カ四千万圓ニ低減サレルカモ知レナイ、而モ是ハ地方的ニ關聯性ガ薄イ、政府カラ示サレタ表ニ依リマシテモ、昨年ノ四月カラ十一月マデノ遊興飲食稅、入場稅ノ總額ノ中、六大都市所在ノ府縣及ビ福岡縣、此ノ七府縣デ六割以上ヲ占メテ居ツテ、地方ニ於ケル關聯性ガ薄イ、而モ薄イノミナラズ、日本ニハ何時ナシ時突發的ニ不景氣ガ來ルカモ知レナイ、或ハ又一億四五千万圓ノ豫算ガ、自然增收ニナツテ二億圓ニナルカモ知レナイ、ソレト同様ニ三千万圓カ五千万圓ニ落込ムカモ知レナイ、斯様ニ安定性ノ少ナイモノヲナゼ配付稅ノ稅源ト致サレタカ、私ハ手取り早ク申シマス、斯様ナモノヲ除ケテ寧ロ所得

稅、法人稅ノ一本建ノ方ガ宜イノデハナイカト思フ、若シ此ノ一億數千萬圓ノ遊興飲食稅、入場稅ガ五千万圓ニナツタ地方ハドウスルカ、第一內務省ガ御困リデハナイカト思フ、ソレデ私ガ茲ニ概算致シテ見マス、本年度十五年度ノ所得稅、法人稅ノ合計額ハ十五億五千七百萬圓カニナツテ居リマス、此ノ一割六分五厘五毛ハ二億五千七百圓、ソレカラ遊興飲食稅、入場稅ガ一億四千万圓ニ近イ、其ノ半分ガ七千万圓デ、合セテ三億二千七百萬圓デアリマス、ソコデ此ノ遊興飲食稅、入場稅ヲ配付稅ノ稅源トシナイデ、所得稅ト法人稅一本建ニスル、サウシマス今申上ゲタ一割六分五厘ト五割ヲ合計致シマレバ、二割一分カ二分ニナリマス、是ハ二割一分デモ二分デモ宜シイガ、所得稅、法人稅ノ合計額ノ二割一分トシテ丁度三億二千七百萬圓ニナリマス、ダカラ斯ウシタ方ガ將來ノ爲ニ宜イノデハナイカ、又稅ノ性質カラ斯ウスベキモノデハナイカト思フ、斯ウ致サレタ方ガ地方ノ財源ノ安定性ノ上カラモ當然デアリ、地方民ノ上カラモサウスルコトガ當然デアアル、是ガ本當デハナイカト思フ、一本建ニスルノガ宜イ、是ハ動カスベカラザル信念ヲ私ハ持ツテ居リマス、何ト仰シヤツテモ是ダケハサウシナケレバナラヌト思ツテ居リマスガ、之ニ對スル政府ノ御意見ヲ承ツテ置キタイ、萬一サウ云フ修正案ガ出マシタナラバ、ドウ云フ御意見デアアルカ、是非私ハ御同意シテ貰ヒタイト思ツテ居リマス、是ハ大藏大臣、內務大臣御列席ノ所デ質問シタイト思ヒマシタガ、一應當局トシテノ御意見ヲ伺ツテ置キマス

○挾間政府委員 此ノ配付稅ノ財源ヲ何ニ

求メルカト云フコトニ付テハ、色々研究ヲ致シタノデアリマスガ、先ヅ今回ノ地方税ハ獨立財源ニ於テハ、主トシテ物税ヲ中心トスルト云フコトニナツテ居リマスカラ、配付税ノ方ニ於テハ之ヲ人税の方面ニ求メルト云フコトガ、地方ノ財源ノ振合カラ見テ適當デアルト考ヘラレルノデアリマス、同時ニ所得税、法人税ノ如キ極メテ伸張性ノ強イ税種デアラカラ、是等ノ税ニ配付税ノ基礎ヲ求メルト云フコトガ合理的デアルト思ヒマス、御述ニナリマシタ御意見ニ付テハ吾々モ同感ノ點モアルノデアリマス、併シ配付税ノ財源ヲ全部所得税、法人税ニ求メルト云フコトニナリマスルト、是ハ一面ニ於テ國庫ノ財政收入ノ關係ニ付テモ考慮ヲ致サナケレバナライノデ、無論遊興飲食税トカ、或ハ入場税ト云フモノハ、景氣ニ從ツテ非常ニ安定性ノ乏シイモノデアアル、此ノ點ニ於テ是ガ配付税ノ財源ニナルト云フコトニ付キマシテ、或ル程度ノ疑念ヲ持ツテ居ル譯デアリマス、併シ此ノ配付税ヲドウ云フ風ニ切盛リヲスルカト云フコトヲ國ノ全體ノ財政トノ關係ニ於テ考ヘマスト、獨リ之ヲ所得税、法人税ト云フモノニ求メルト云フコトニ付キマシテハ、色々國庫財政ノ關係等モアリマシテ、考慮シナケレバナライ點ガゴザイマス關係上、今回ノ如ク主タル財源トシマシテハ所得税、法人税、サウシテ之ニ配スルニ遊興飲食税、入場税ヲ加味スルト云フコトニ致シタ譯デアリマス

○小見山委員 大體分リマシタ、要スルニ内務當局ト致サレテハ、斯様ナ安定性ノナイ遊興飲食税、入場税ト云フヤウナモノヲ配付税ノ財源ニ持ツテ來ルト云フコトヨリ

モ、所得税、法人税ノ如キモノダケデ一建行ツタ方が宜シイノデアルケレドモ、國家ノ財政全體ノ見地カラシテ已ムヲ得ナイト云フ御見解ト思ツテ居リマス、内務省ニ於カレテハ遊興飲食税、入場税ヲ廢止サレテ、是ガ一本建ニナツテモ決シテ御苦シクハナイ、ソレハ却テ都合ガ好イト御考デハナイカト解釋致シテ居リマス、ソレニ對シテ御答辯ハナクテモ宜イノデアリマス

○兒玉國務大臣 其ノ點ハ強ク反對ノ意思ヲ表シテ置カナケレバナラスノデアリマス、只今局長ヨリ申上ゲマシタ通りニ、配付税ノ財源ヲ主トシテ所得税並ニ法人税ニ求メ、之ニ配スルニ遊興飲食税並ニ入場税ヲ以テシタト云フ事柄ハ、此ノ配付税制度ヲ執リマス上ニ於テ、國ノ財政ト配合セマシテ最善ノ方法ナリト信ジテ居ルノデアリマス、其ノ點ヲハツキリ申上ゲタイト思ヒマス

○内藤委員長代理 本日ハ席ノ都合モアリマスカラ、此ノ程度ニシテ、明日ハ午前十時ヨリ續行致シマス、是ニテ散會致シマス
午後零時四十三分散會

昭和十五年三月六日印刷

昭和十五年三月七日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局